

2024年3月期 決算説明会

2024年5月13日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ－SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGIは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市場、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

A group of ARM executives and employees are gathered on a stage, celebrating the company's IPO. They are clapping and cheering, with confetti falling around them. In the background, the ARM logo is displayed on a large screen, and the Nasdaq logo is visible on a podium in the foreground.

2023年9月14日上場
2023年最大規模

アーム株価

arm

(2024年2月12日)

上場来高値

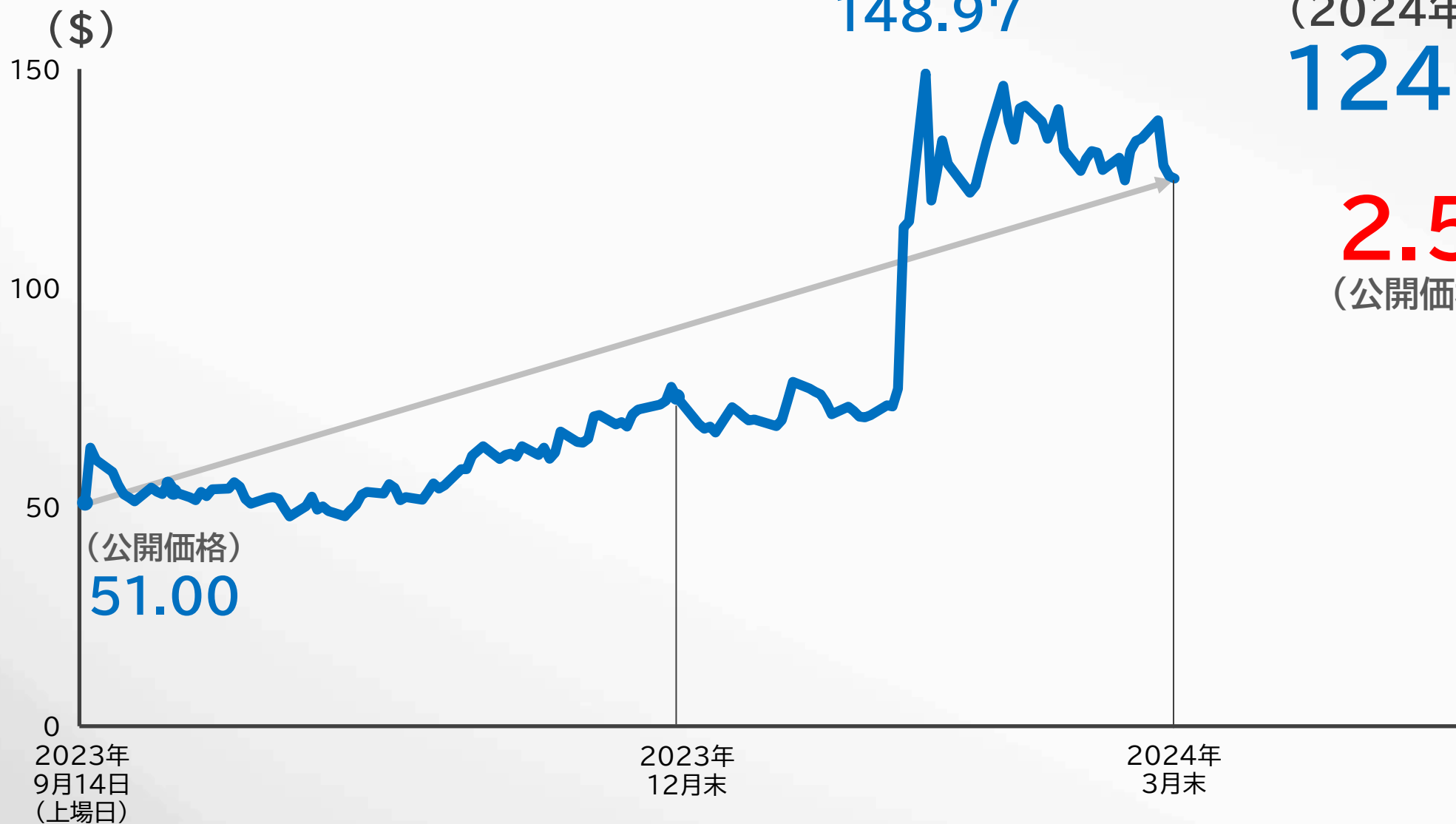
148.97

(2024年3月末)

124.99

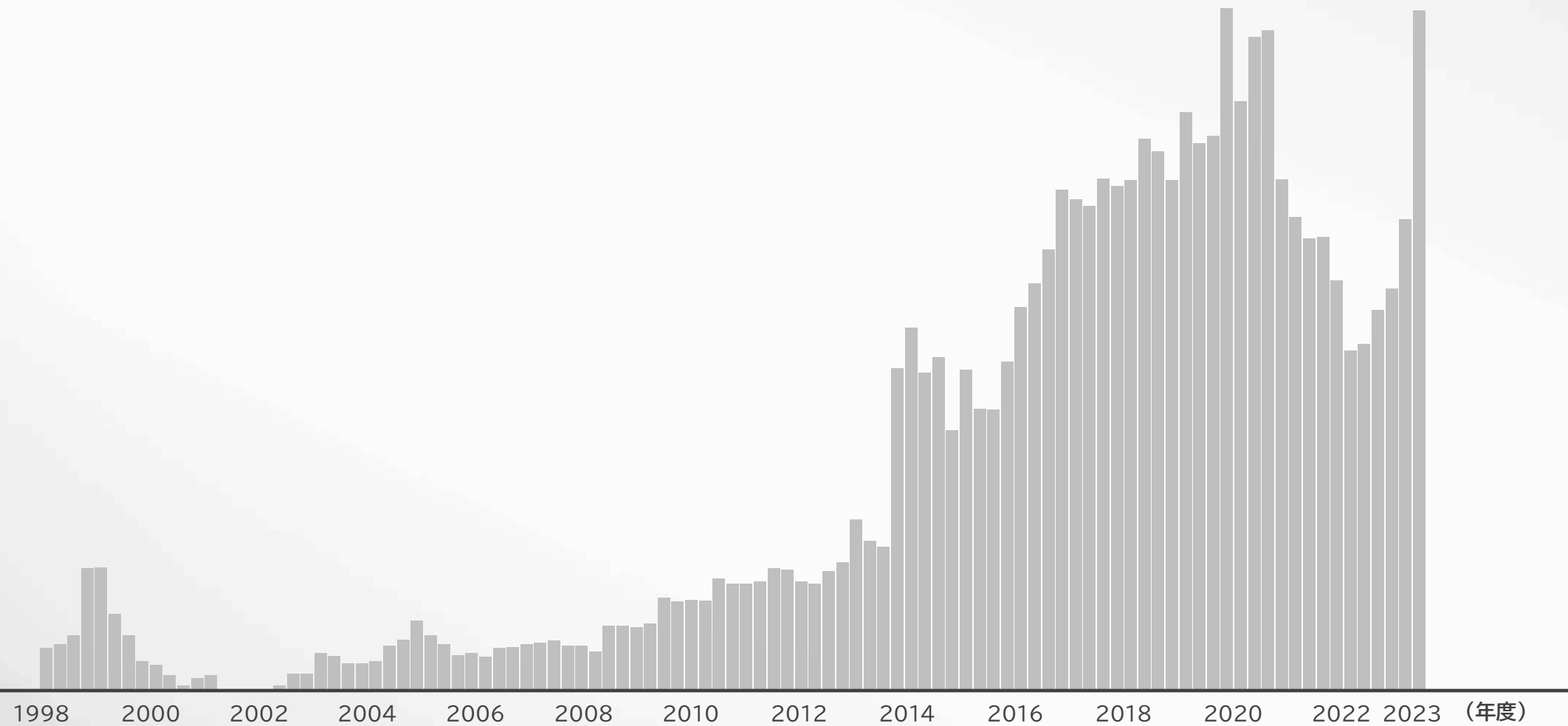
2.5倍

(公開価格比)



アーム株価の大幅上昇により
NAVは過去最高水準

NAV推移



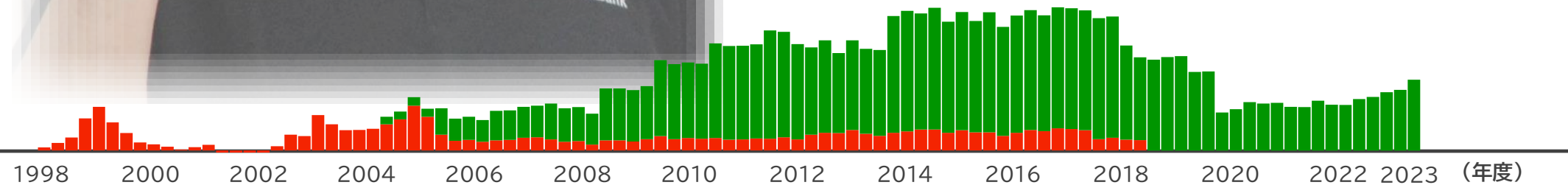
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない



NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない



 SoftBank



NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

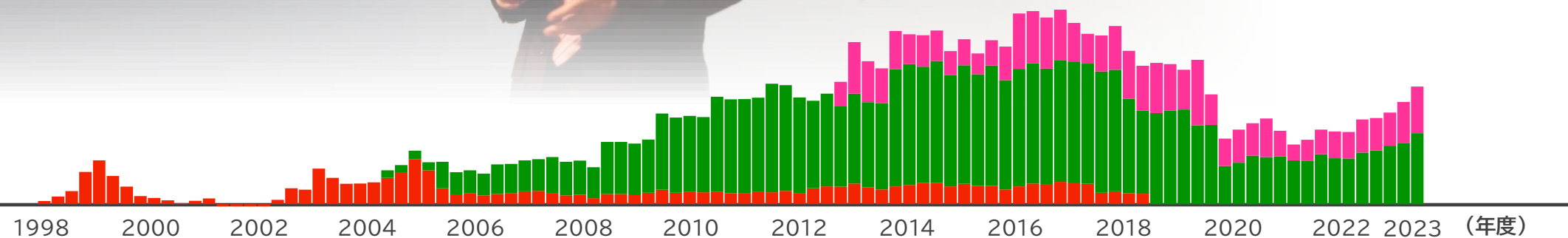
Sprint



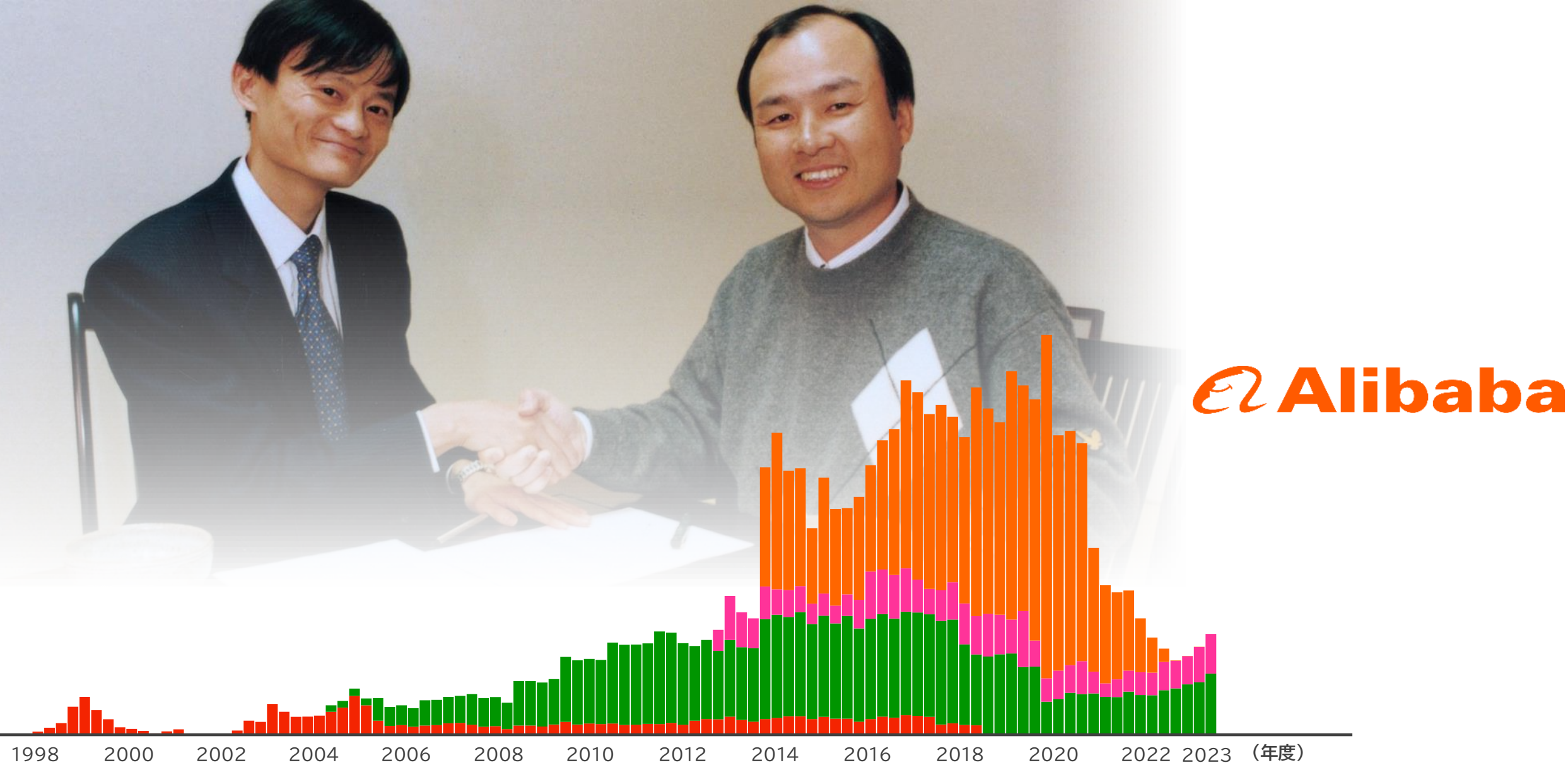
Sprint



T Mobile



NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

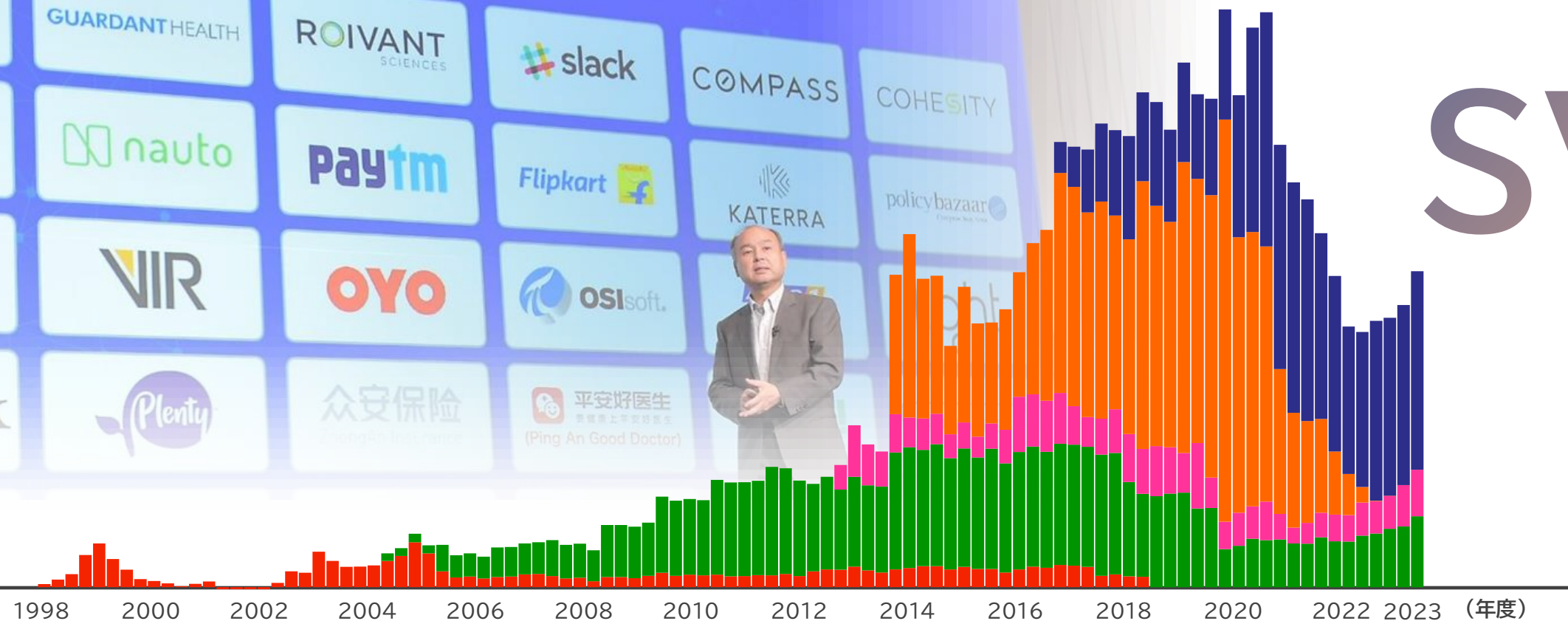


NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

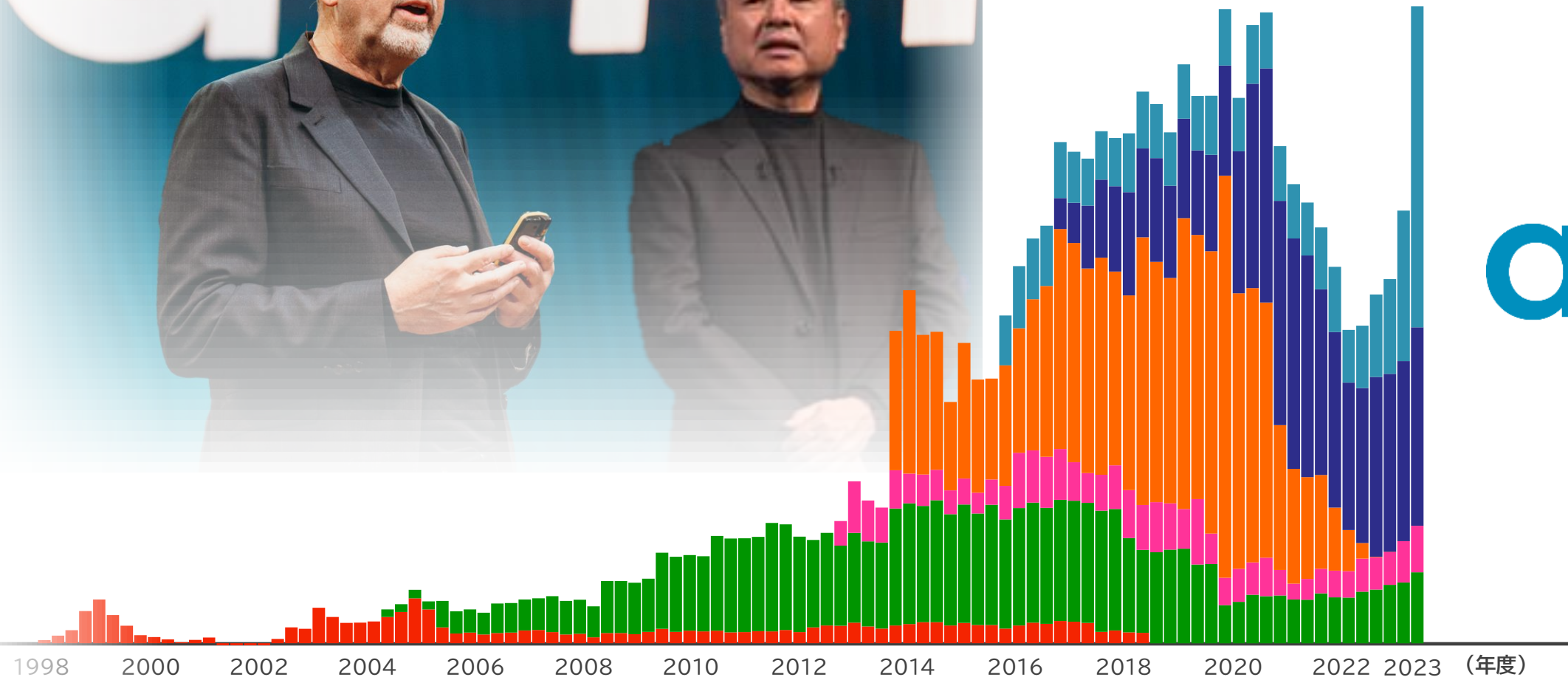
SoftBank Vision Fund



SVF



各四半期末時点の保有株式価値の割合で按分
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVIに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない



arm

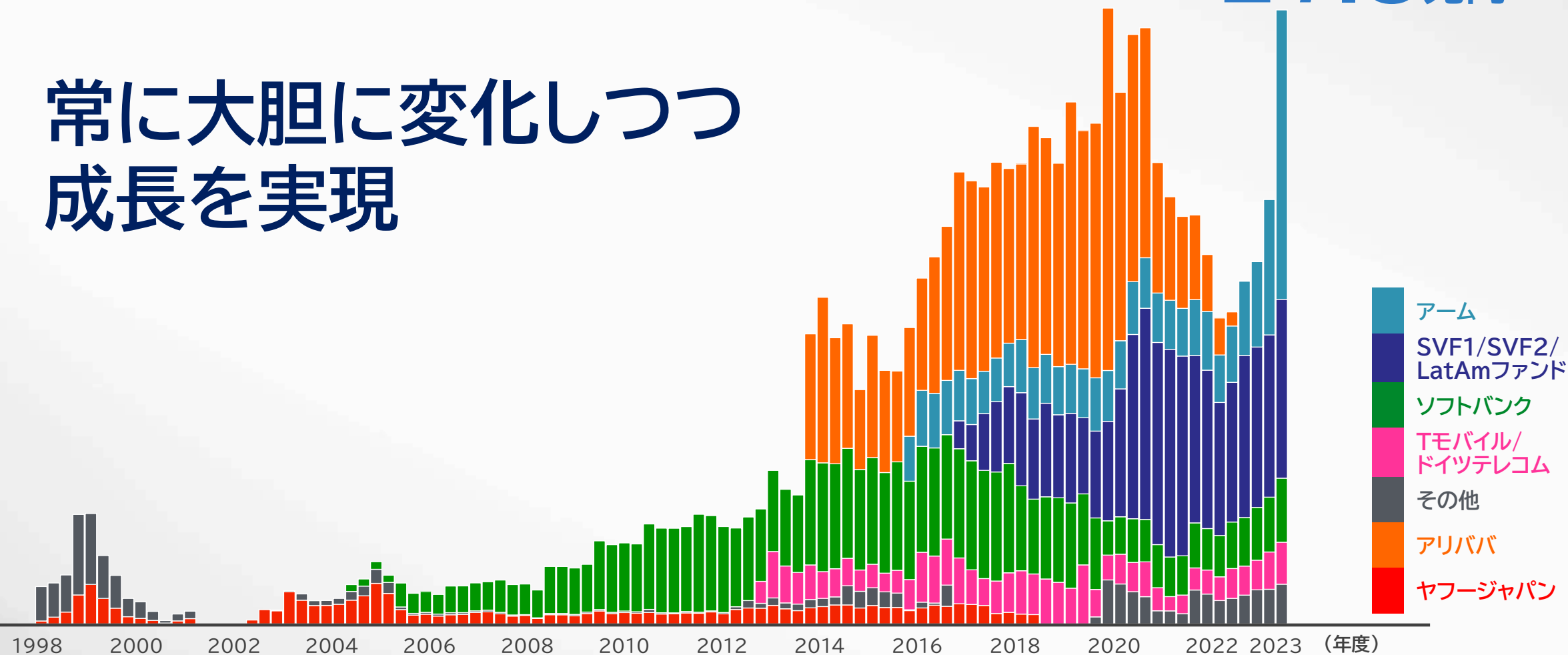
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

NAV推移

(2024年3月末)

27.8兆円

常に大胆に変化しつつ
成長を実現



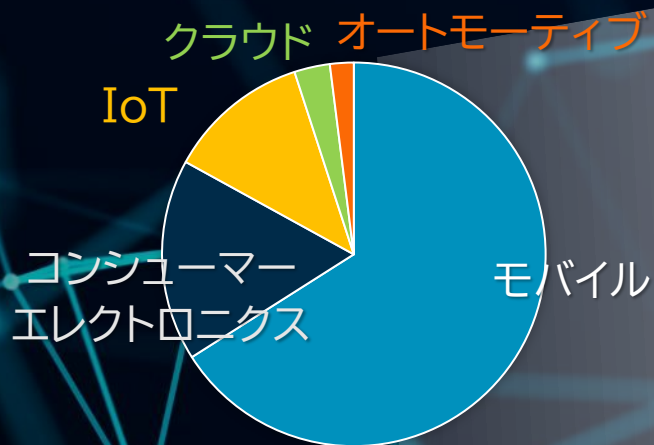
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

買収前と買収後のアームの変化

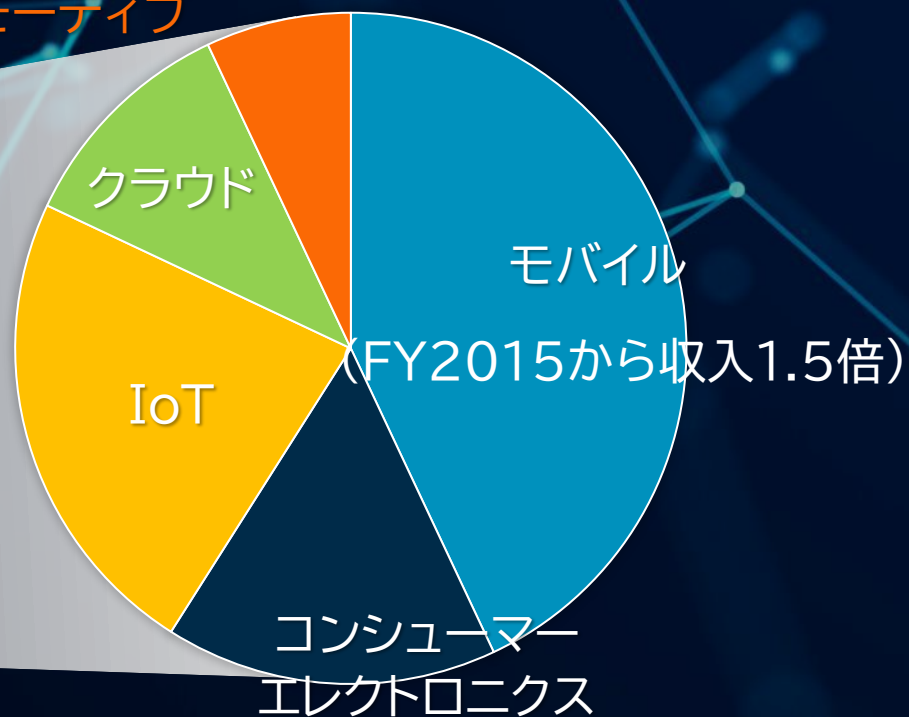
ロイヤルティ収入 エンドマーケット別構成

FY2015

FY2023

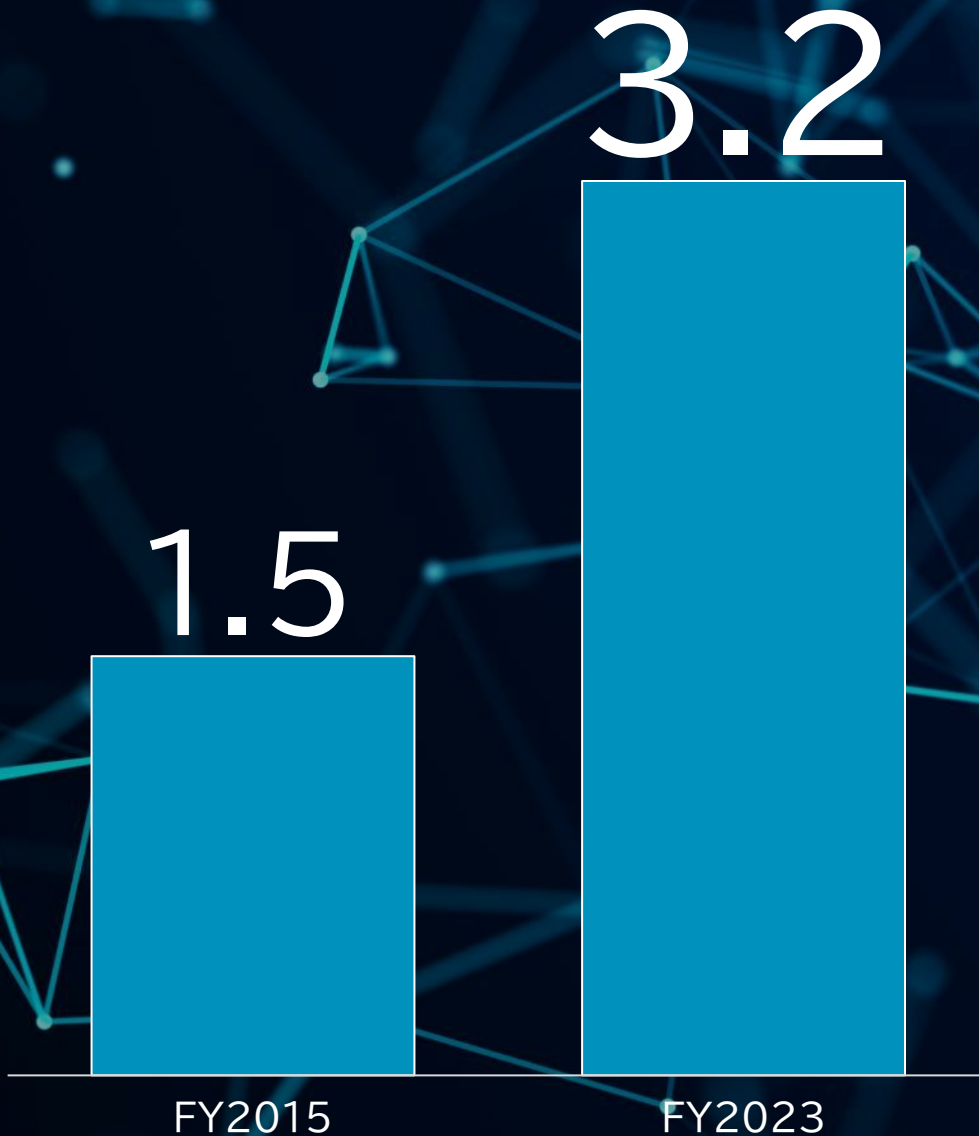


オートモーティブ



買収前と買収後のアームの変化

(\$ B)

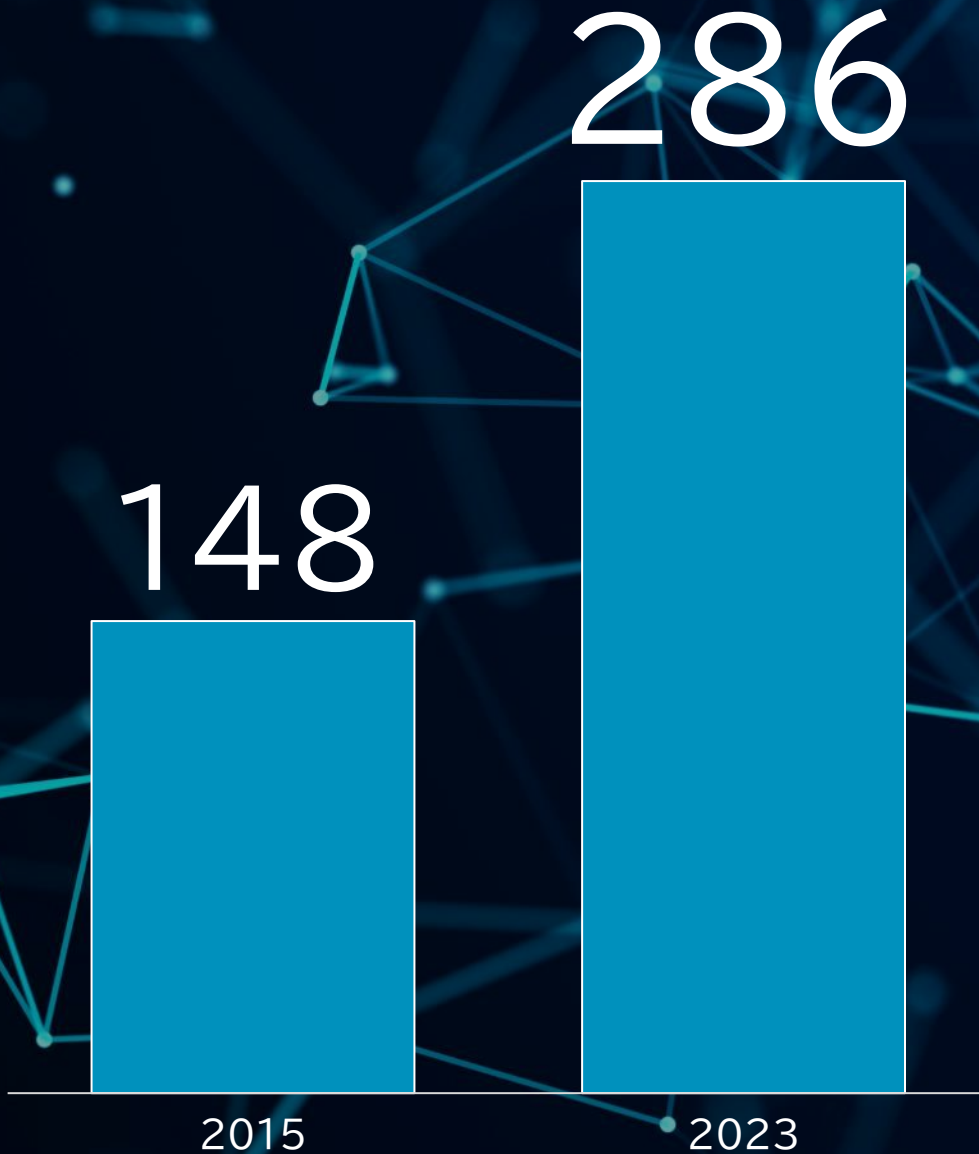


売上高

倍増

買収前と買収後のアームの変化

(億個)

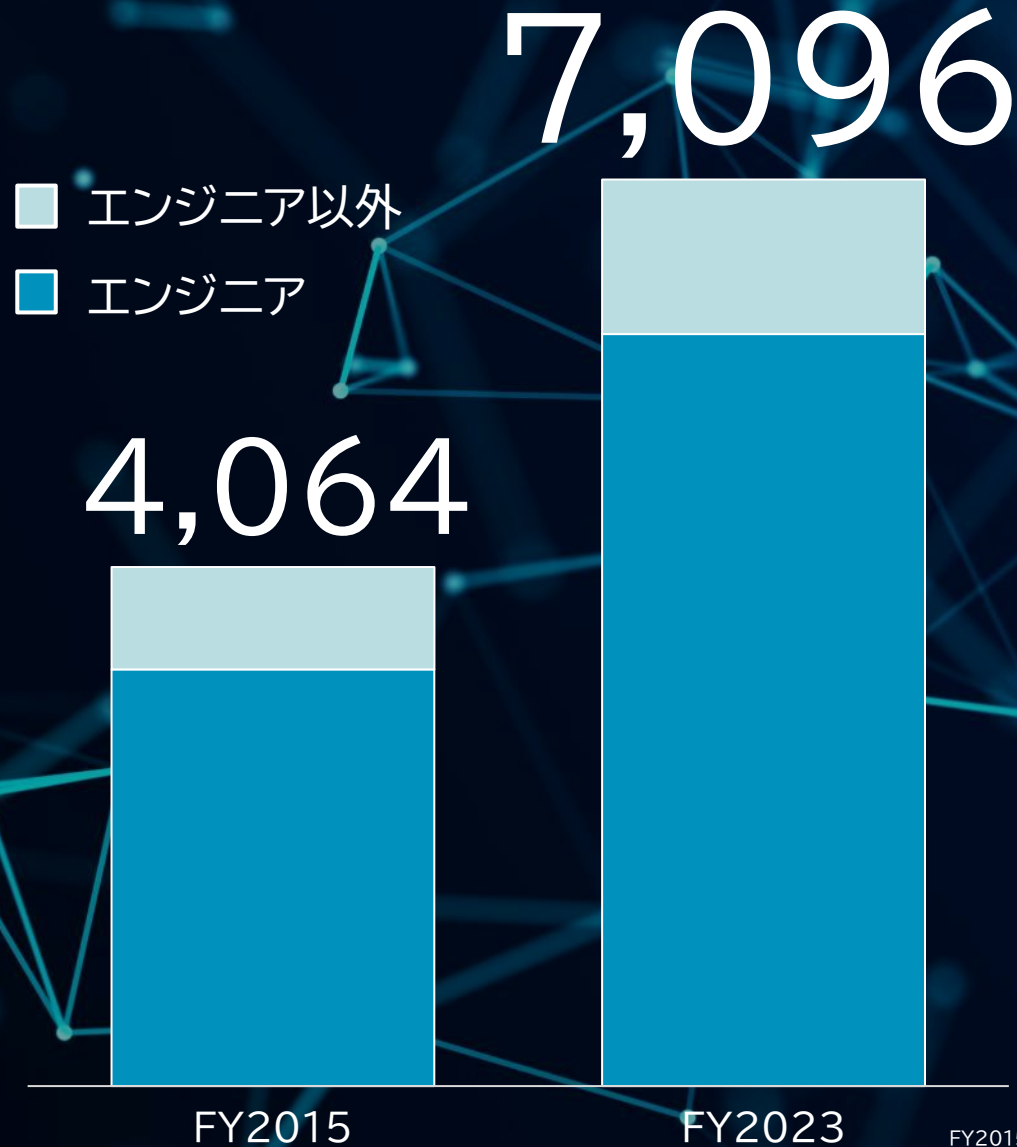


アームベースチップ
出荷数(年間)

1.9倍

買収前と買収後のアームの変化

(名)



人員

1.7倍

FY2015

FY2023

人員数は2016年3月末時点および2024年3月末時点。「エンジニア」、「エンジニア以外」は職種ベースにより集計。
FY2015のエンジニア職には、プログラムマネジメント職、テクニカルサポート職やその他の技術職も含む。FY2023のエンジニア職には当該職種は含まず

業績ガイダンス（米国会計基準）



	2024年度 Q1(予)	2024年度 通期(予)
売上高 (前年同期比)	\$875M ~ \$925M (+30% ~ +37%)	\$3,800M ~ \$4,100M (+18% ~ +27%)
調整後営業費用	\$475M程度	\$2,050M程度
調整後EPS (完全希薄化後)	\$0.32 ~ \$0.36	\$1.45 ~ \$1.65

(出所) Arm
調整後営業費用は「Non-GAAP operating expense」、調整後EPS(完全希薄化後)は「Non-GAAP fully diluted earnings per share」を示す。
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

2023年度決算概要

1. 連結業績
2. 重要指標
3. 投資戦略
4. SVF
5. 財務戦略



連結業績

連結業績

(億円)

	2022年度	2023年度	増減額
売上高	65,704	67,565	+1,861
投資損益	-8,351	-5,594	+2,757
税引前利益	-4,691	578	+5,269
純利益	-9,701	-2,276	+7,425

連結業績（2023年度 四半期推移）

（億円）

	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	15,575	16,696	17,748	17,546
投資損益	-6,990	-2,646	4,246	-204
税引前利益	-1,762	-7,312	11,715	-2,063
純利益	-4,776	-9,311	9,500	2,311

アーム株価変動の影響

連結P/L

株式価値の増減を
計上しない
(子会社のため)

NAV

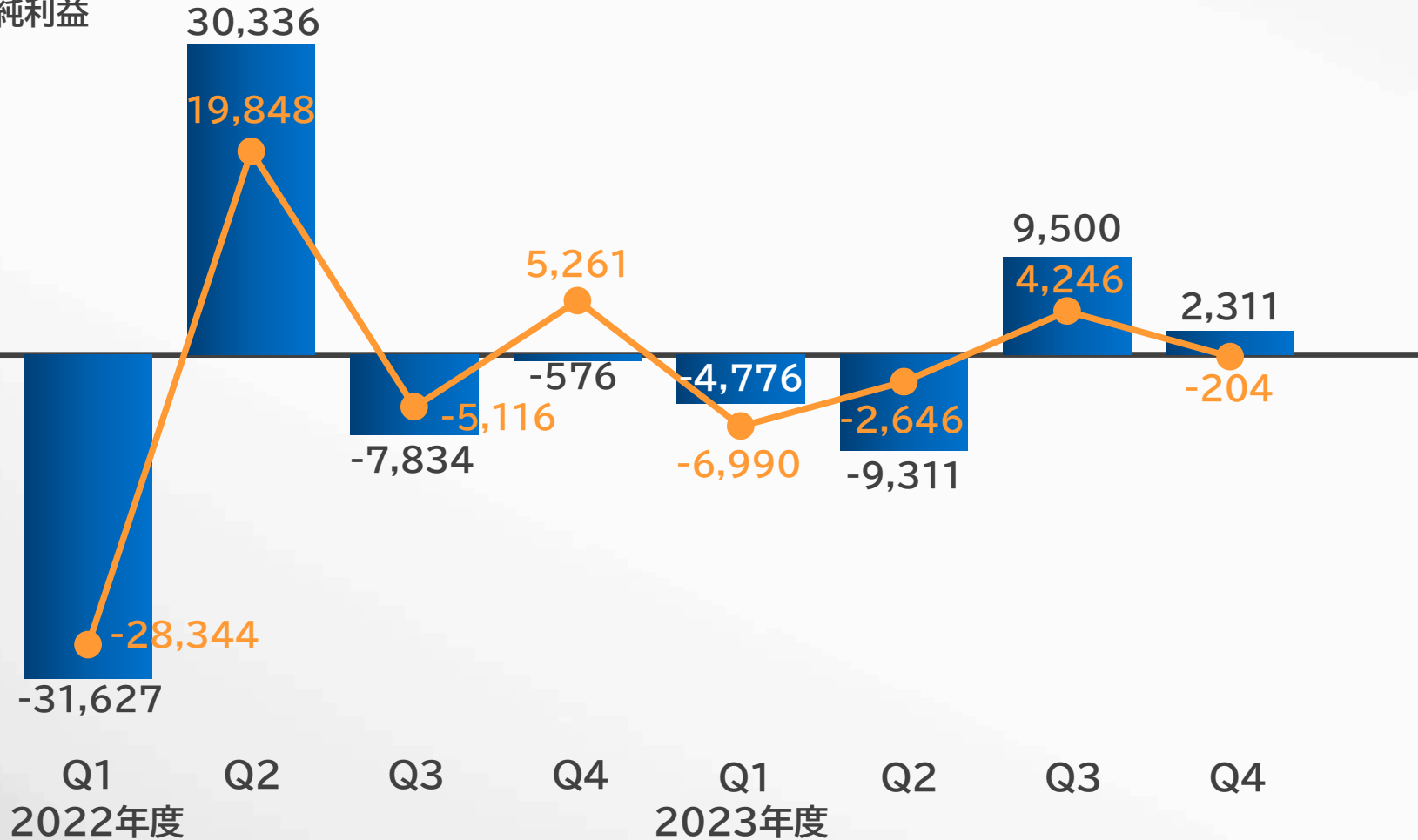
保有株式数 x 株価を
反映
(アセットバック・ファイナンス等調整後)

投資損益および純利益（四半期）

（億円）

● 投資損益

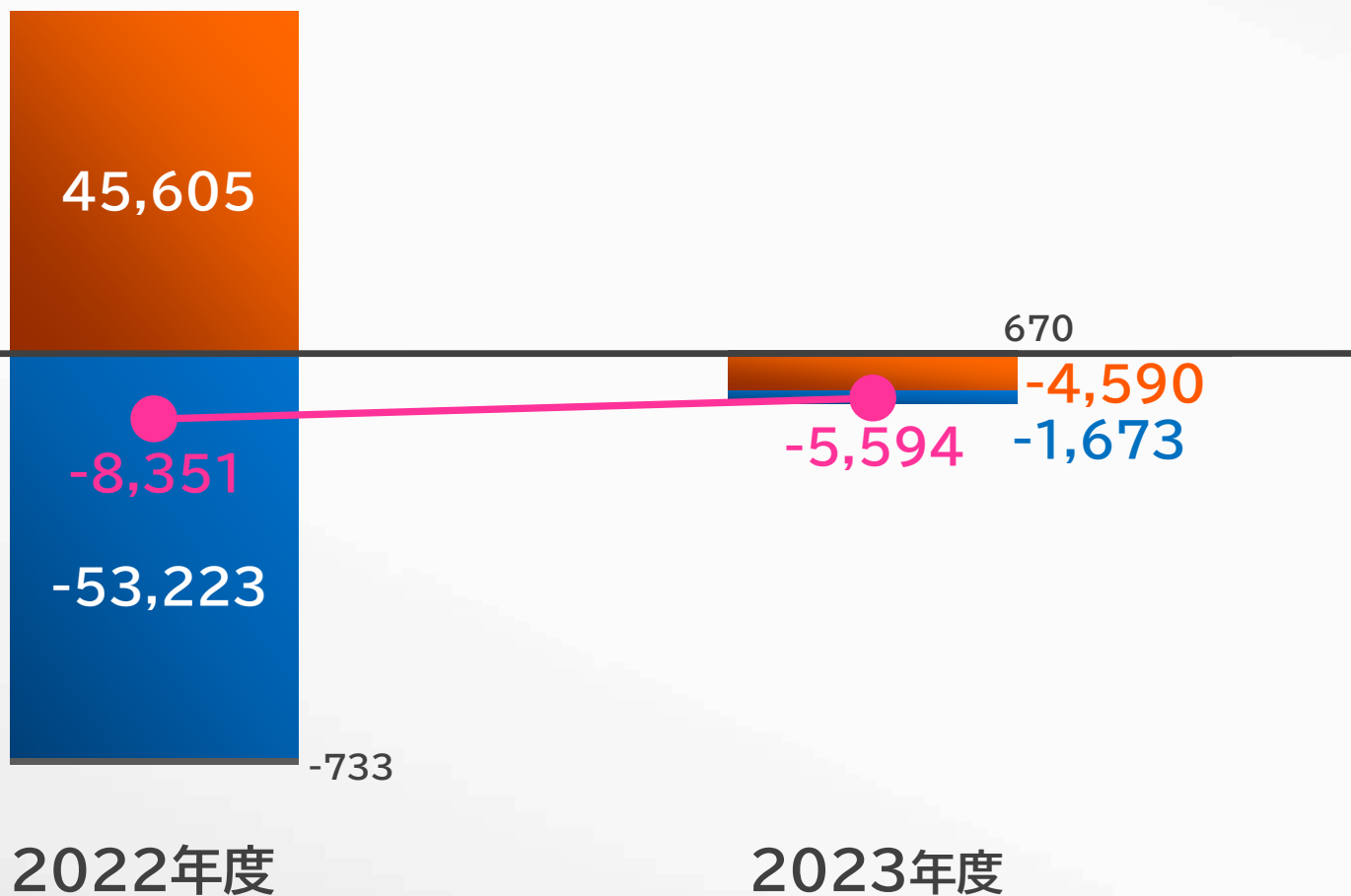
■ 純利益



純利益は
直近2四半期
連続の黒字

投資損益

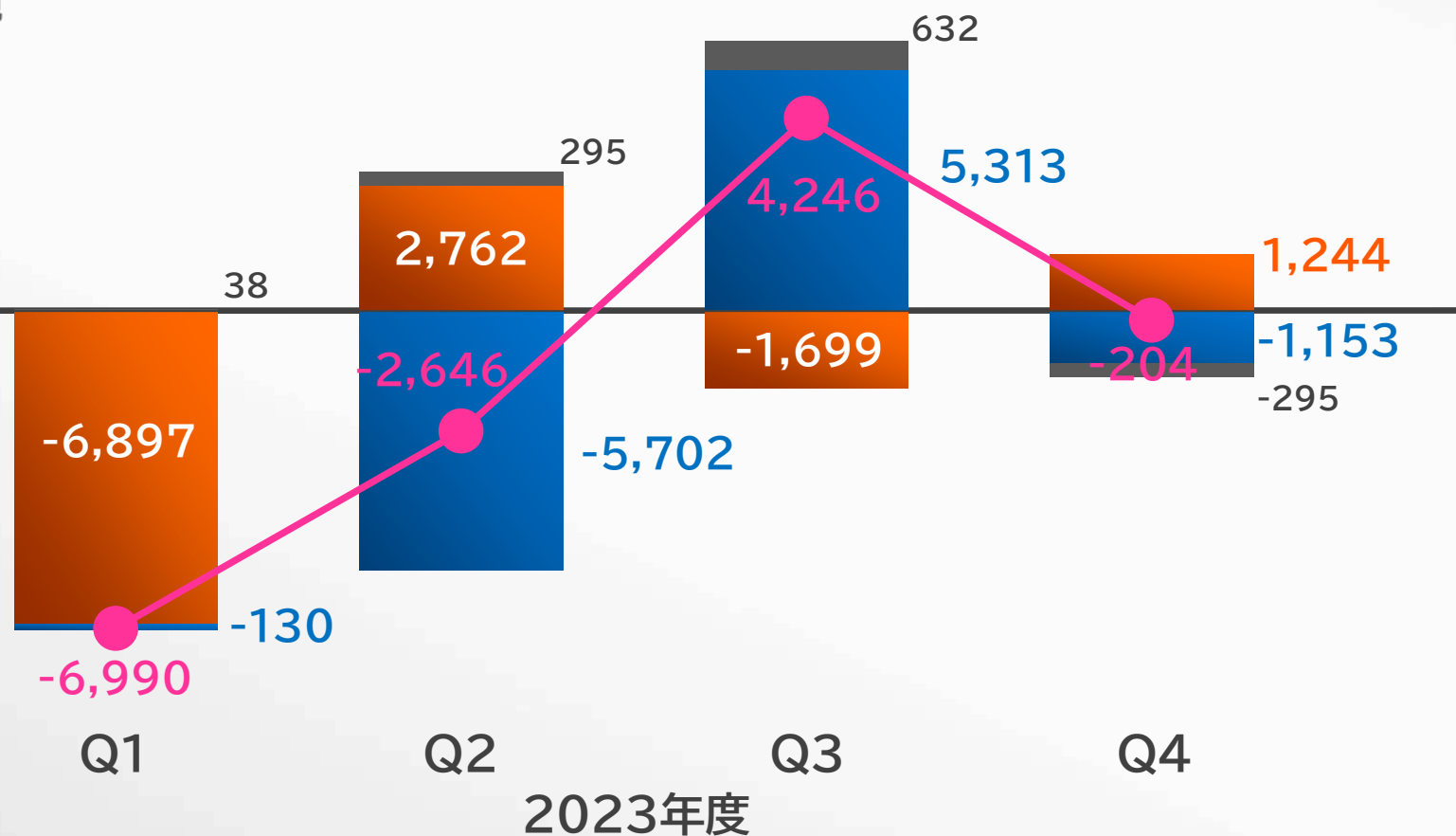
(億円)



SVF事業の
投資損益が
大幅改善

投資損益（2023年度 四半期推移）

（億円）



年間通じて
投資損益は
改善傾向

重要指標

重要指標（2023年3月末比）

2023年3月末

2024年3月末

NAV
(時価純資産)

14.1兆円

27.8兆円

LTV
(純負債／保有株式価値)

11.0%

8.4%

手元流動性

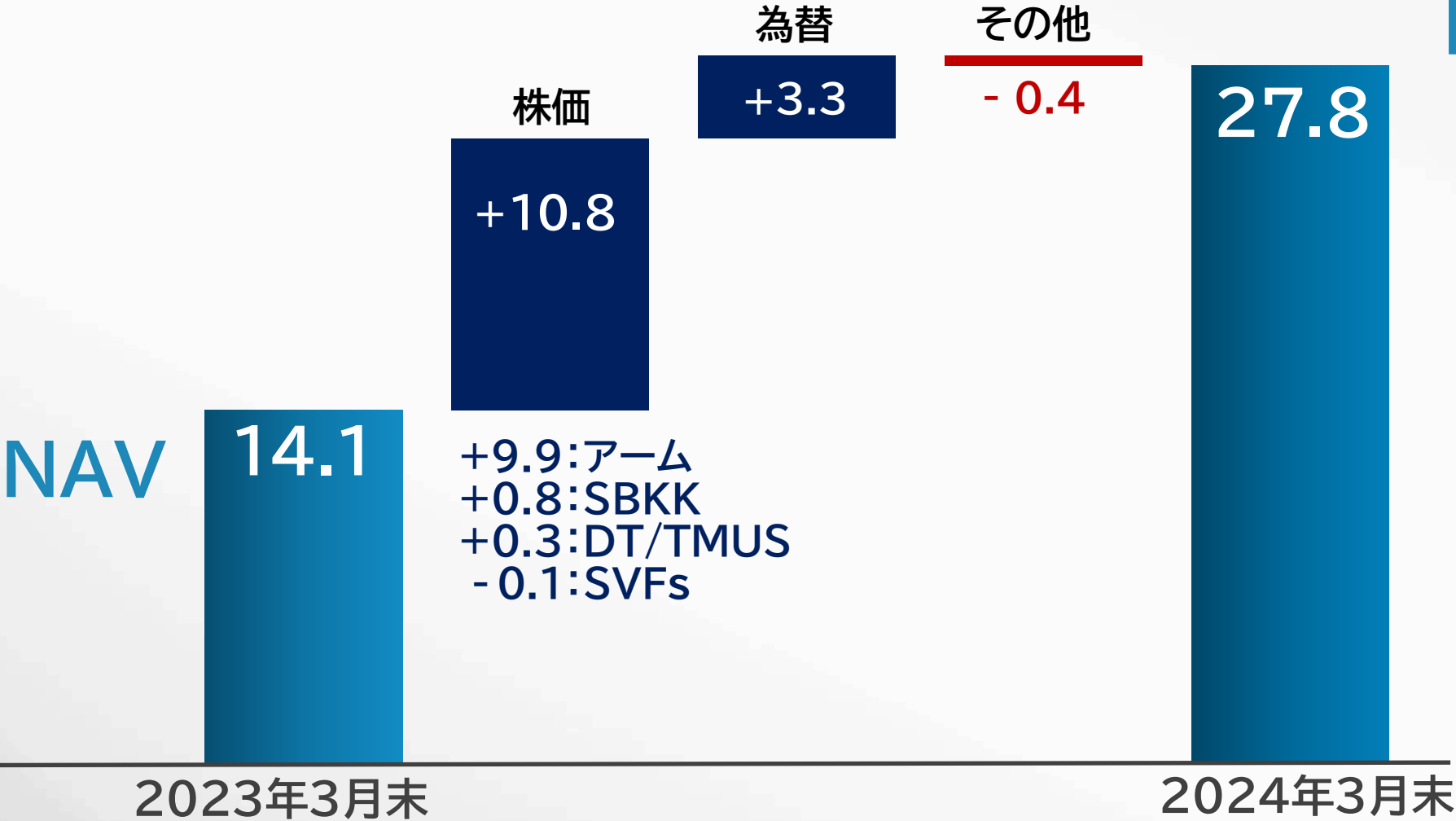
5.1兆円

4.7兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法（2023年3月末時点）」「NAV・LTVの定義及び算出方法（2024年3月末時点）」を参照
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。）

NAV増減要因 (2023年度)

(兆円)



主に株価/為替要因で
13.7兆円増
(+97%)

NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年3月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計
為替:2024年3月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SBNは米ドル建てとみなして試算

為替影響 (2023年度)

円安はNAVと資本にプラスの影響

(2023年3月末) (2024年3月末)
1米ドル= 133.53円 → 151.41円

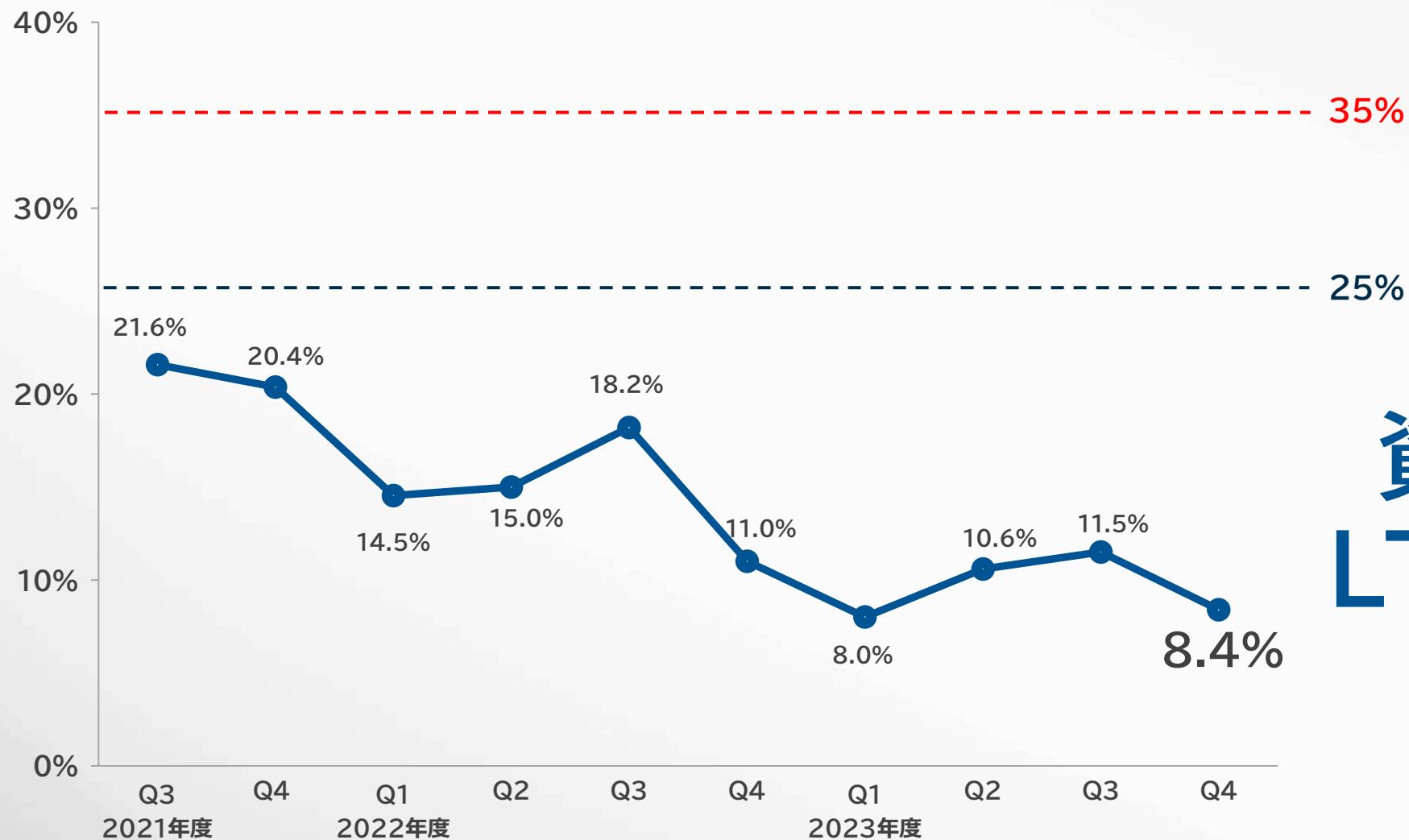
NAVへの影響

+3.3兆円

会計への影響

資本
+2.0兆円
連結純利益
-0.7兆円

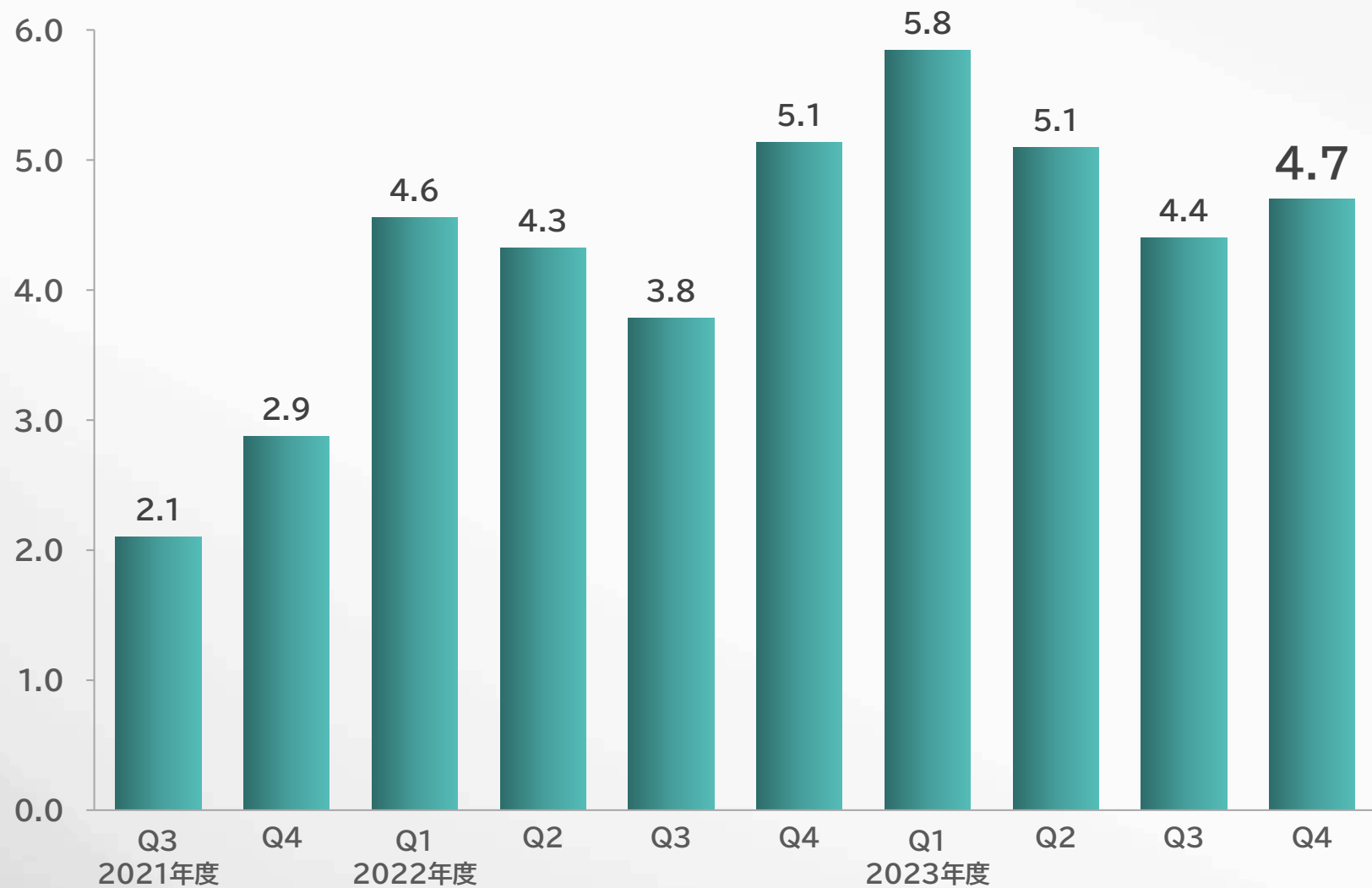
アセットバック・ファイナンス除く



資産価値増が
LTV低下に寄与

手元流動性

(兆円)



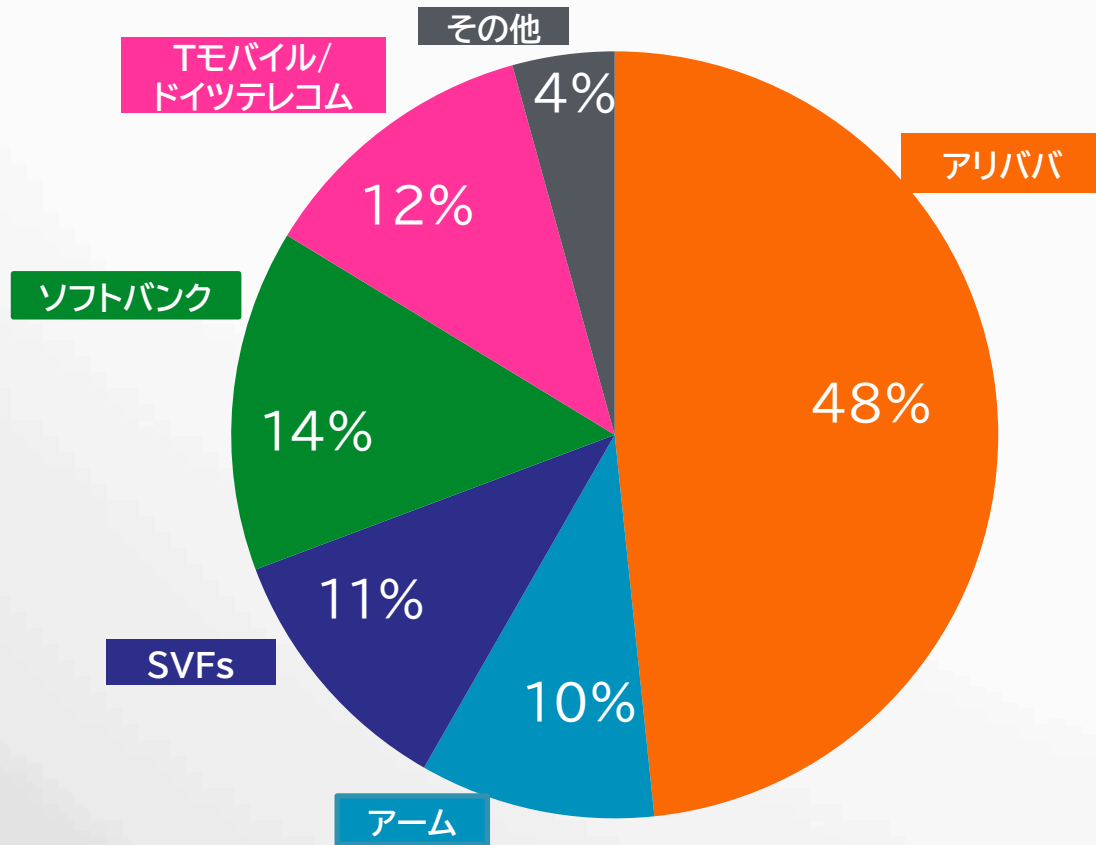
高水準を維持

各四半期末時点
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。）

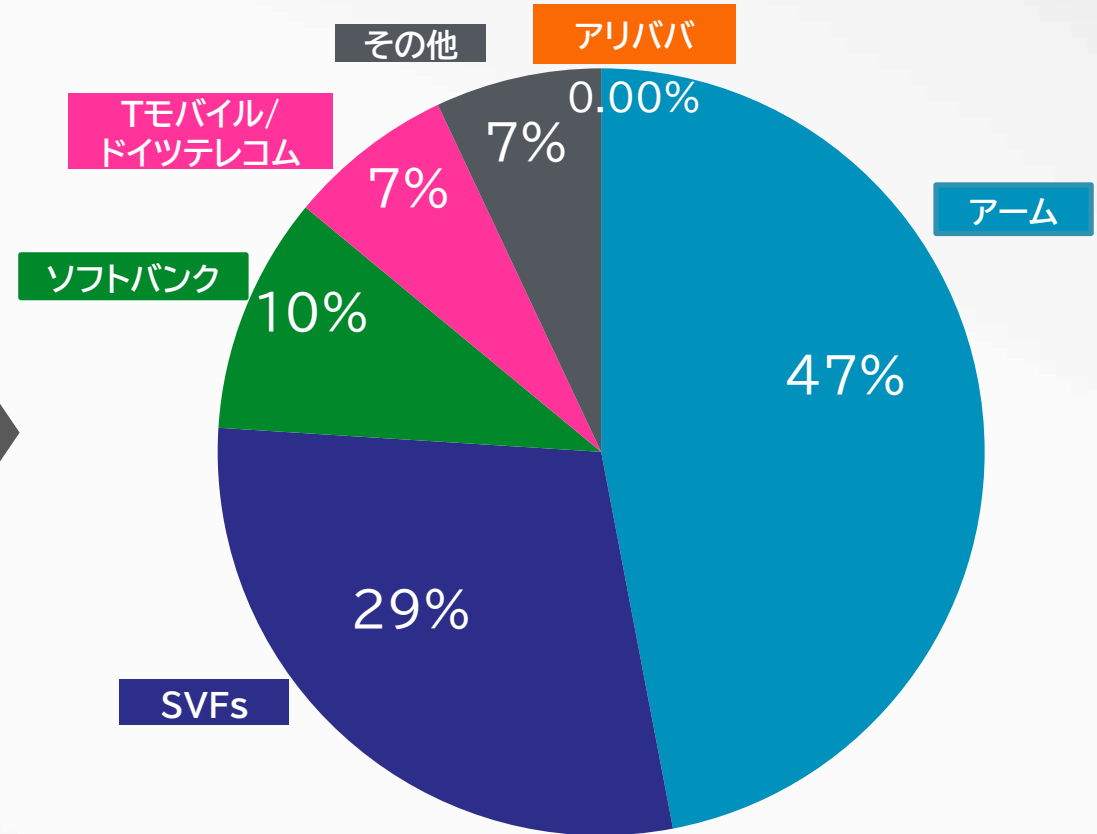
保有資産構成の変化

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2020年3月末



2024年3月末

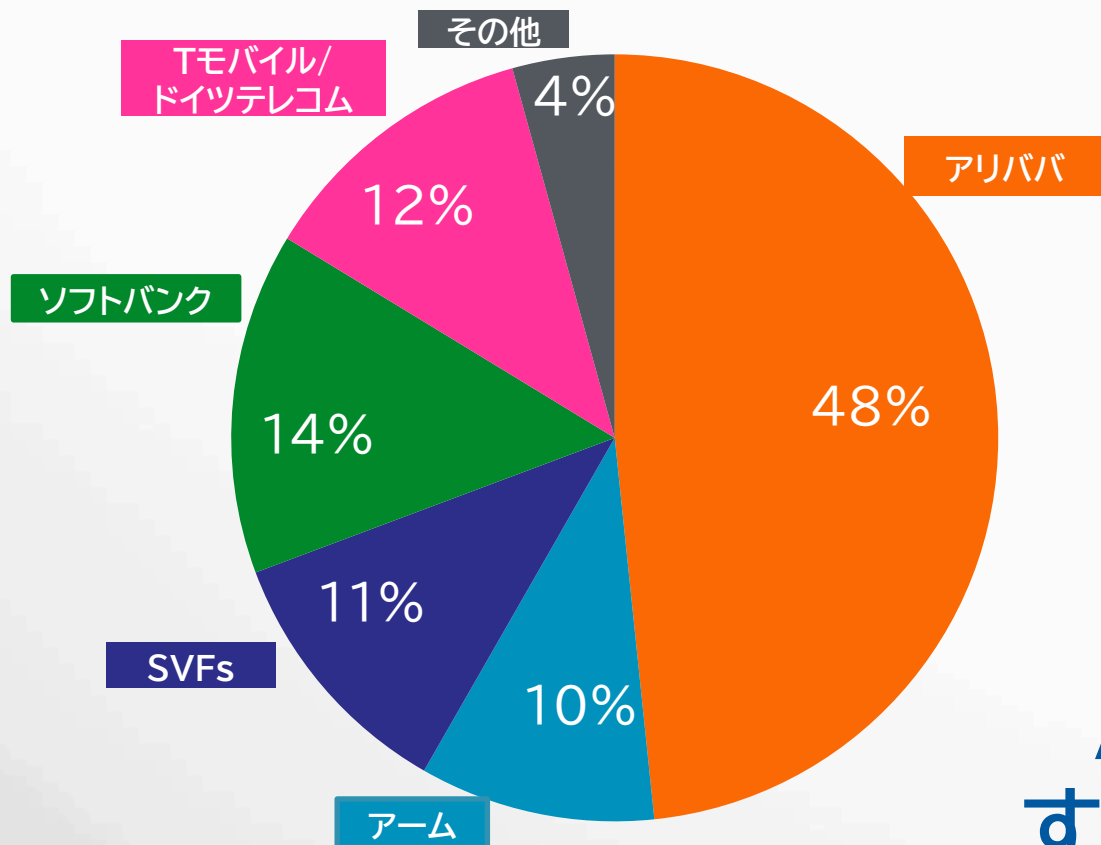


各時点の保有株式価値の構成割合
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計

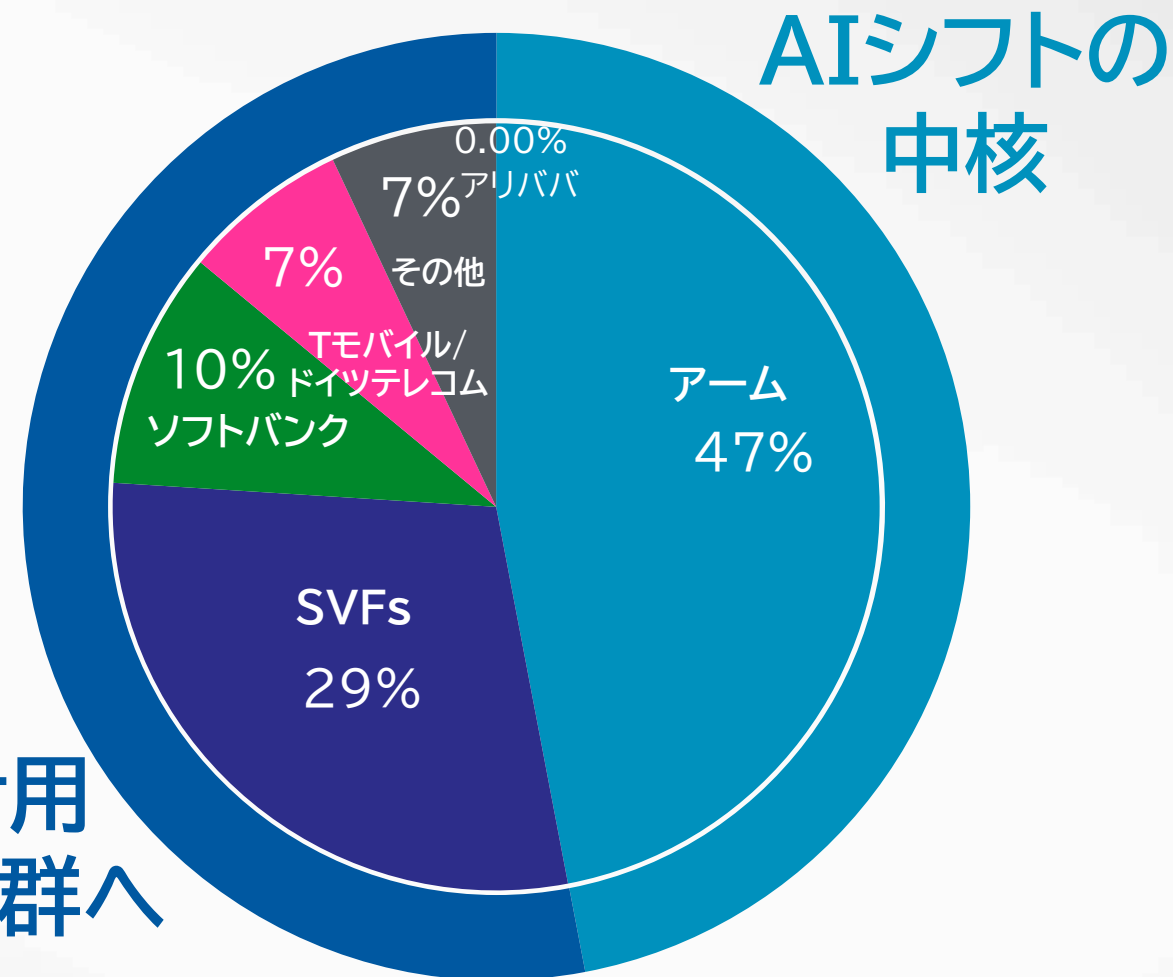
保有資産構成の変化＝AIへのシフト

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2020年3月末



2024年3月末



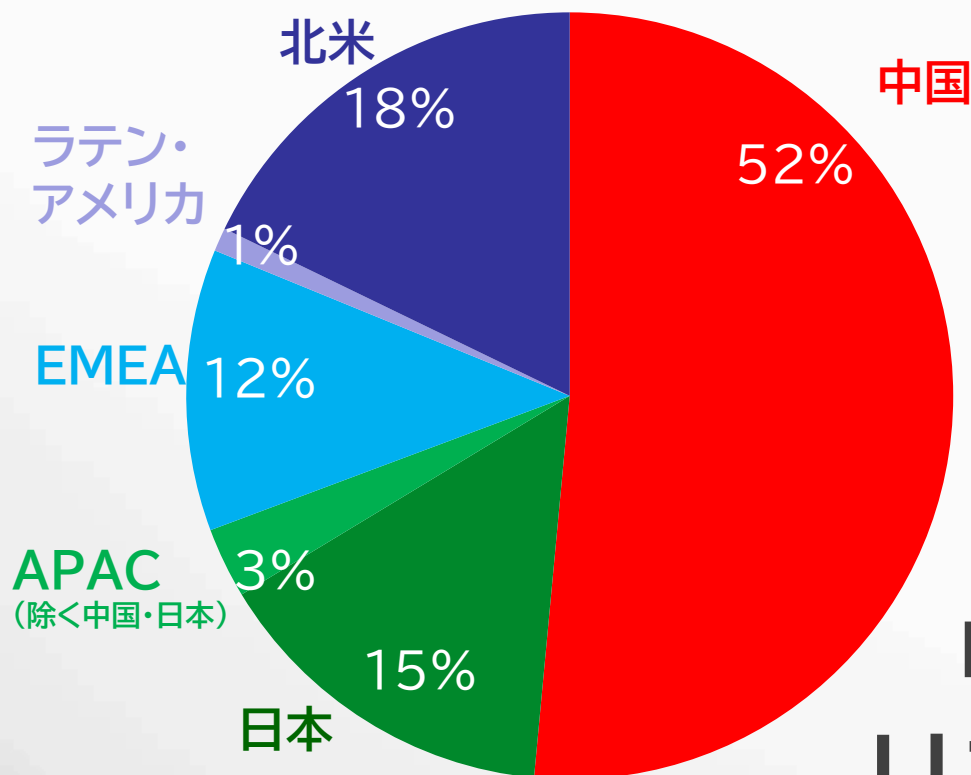
AIを活用
する企業群へ

各時点の保有株式価値の構成割合
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計
本スライドは、投資事業のAIへのシフトのイメージを説明する目的で提供されている。

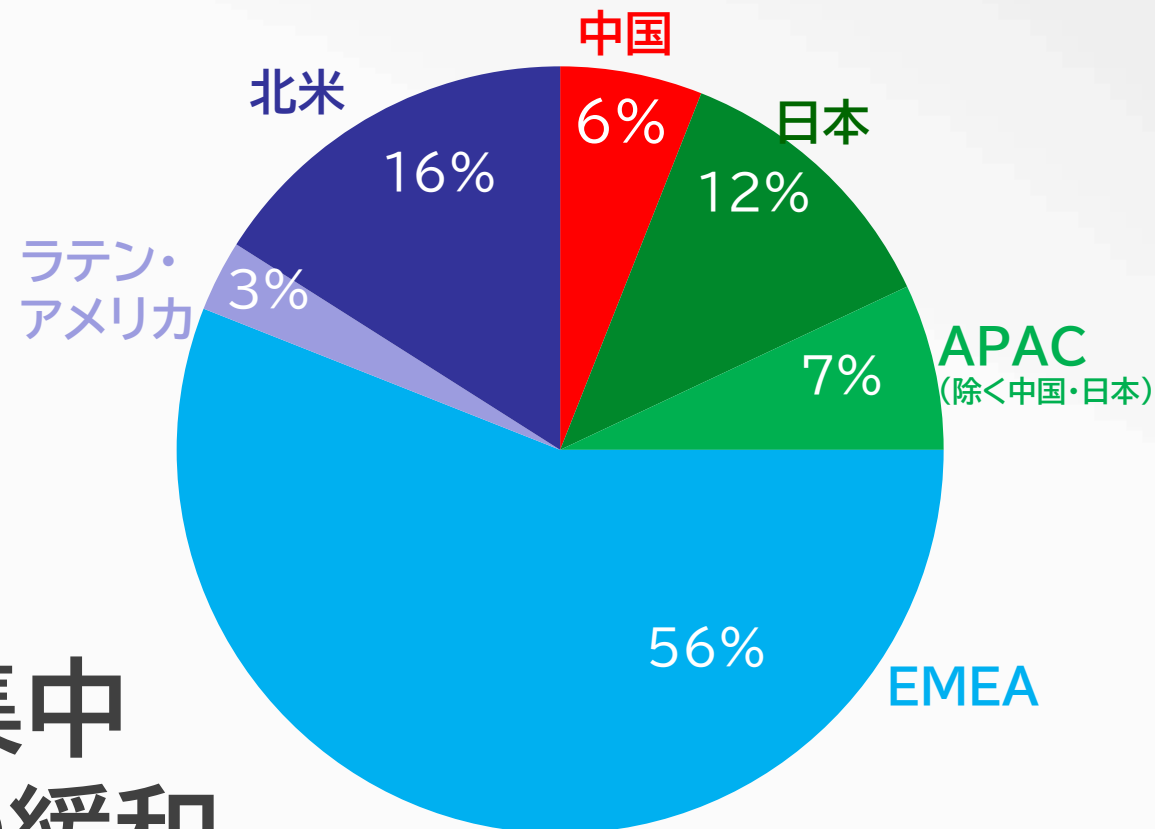
地域構成の変化

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2020年3月末



2024年3月末



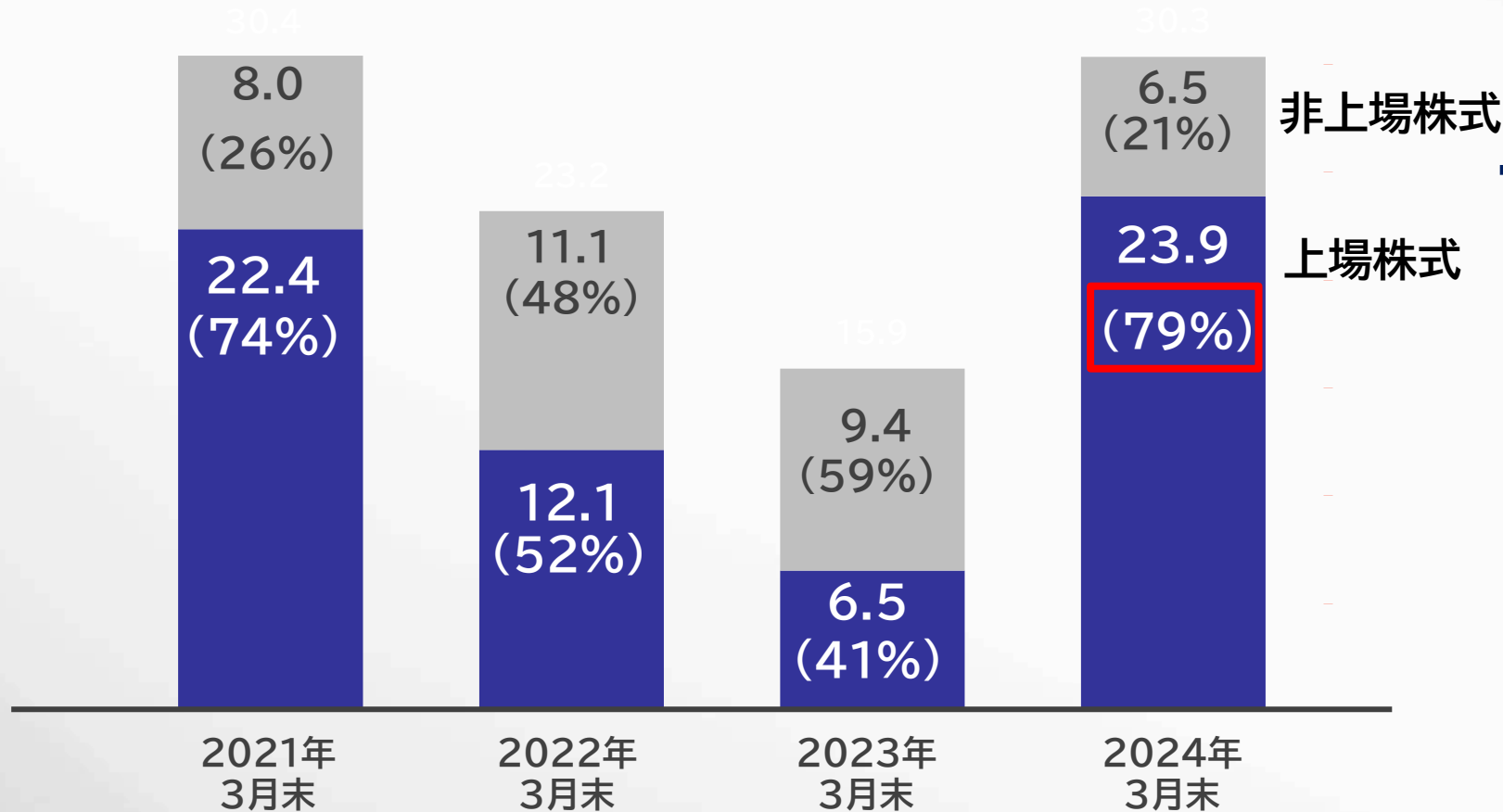
中国集中
リスクの緩和

各時点の保有株式価値を投資先の本社所在地に基づいた地域に分類した構成比
中国:アリババ、SVF1およびSVF2(中国相当)、その他の中国投資の合計
日本:ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
APAC(除く中国・日本):SVF1およびSVF2(中国・日本を除くAPAC相当)、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
EMEA:アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2(EMEA相当)、その他のEMEA投資等の合計
ラテン・アメリカ:LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
北米:Tモバイル、SVF1およびSVF2(北米相当)、その他の北米投資の合計

保有株式価値：上場株比率の推移

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

(兆円) ※()は合計に占める割合



アーム価値増加で
上場株式比率は
79%に

上場株比率：各期末の保有株式価値合計に占める上場株の割合。アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2024年3月末はアーム含む。(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

投資戦略



AGI

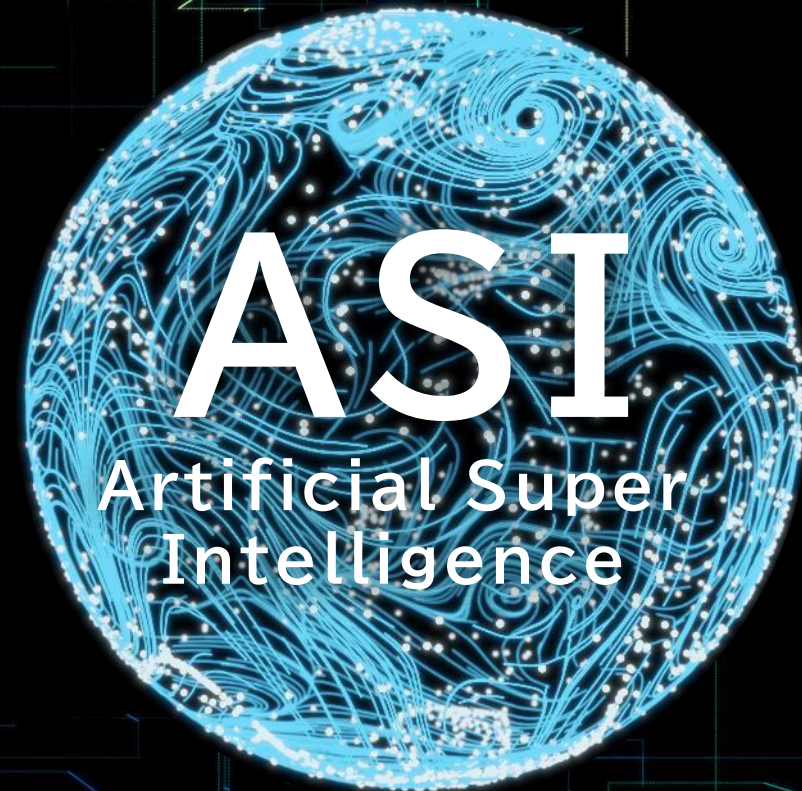
10年以内に実現

SoftBank World 2023 特別講演での孫正義の発言

現在

10年以内

20年以内



GPT-4
(医師免許試験 合格)

全人類の叡智
10倍

全人類の叡智
10,000倍

医師免許試験: USMLE (United States Medical Licensing Examination) の模擬試験における GPT-4 (5ショット) のスコアで評価
(出典) OpenAI, Microsoft "Capabilities of GPT-4 on Medical Challenge Problems"

“AI is everywhere”
“You can’t run AI
without ARM”

CES2024でのアームCEO Rene Haasの発言



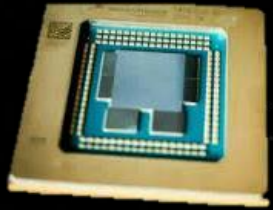
全世界のデータセンターの消費電力は

年間460TWh*

*イギリスの全消費電力を超える

2022年時点
全世界のデータセンターの消費電力:国際エネルギー機関(IEA)のExecutive summaryレポート(2024年1月掲載)より
イギリスの全消費電力:Enerdataウェブサイトの「United Kingdom Energy Information」より
TWh(テラワットアワー):テラは1兆倍。1Wh(ワットアワー)は1Wの電力機器を1時間運転した時の消費電力の単位
「電力(W)×時間(h)」で計算

アームは高いエネルギー効率を提供



Amazon: AWS Graviton

競合より **60%** 高いエネルギー効率



Microsoft: Azure Cobalt

競合より **40%** 高いエネルギー効率



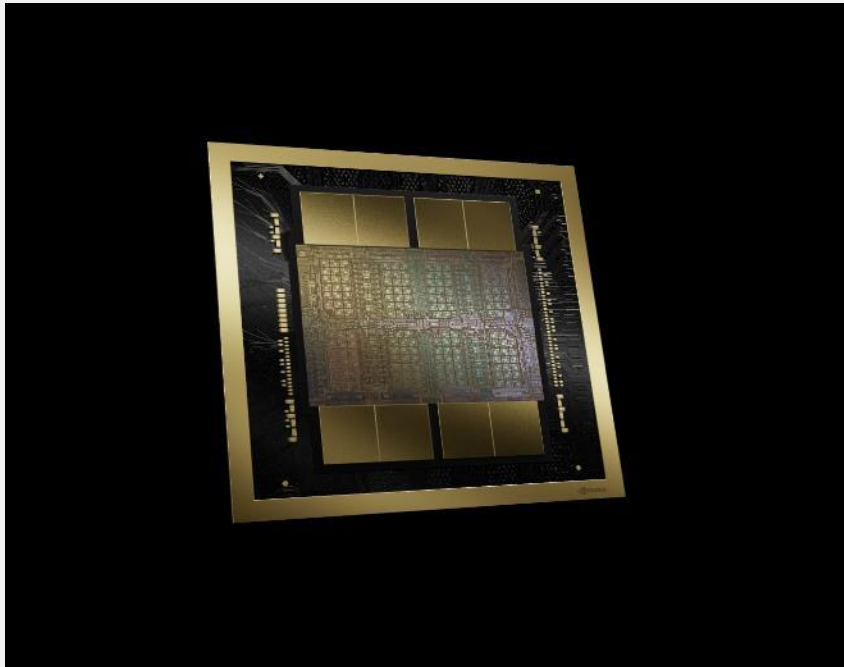
Oracle: Ampere Altra Max

競合より **60%** 高いエネルギー効率

NVIDIA:最新データセンター向けチップに アームベースCPUを採用

Grace Blackwell

(2024年3月発表)

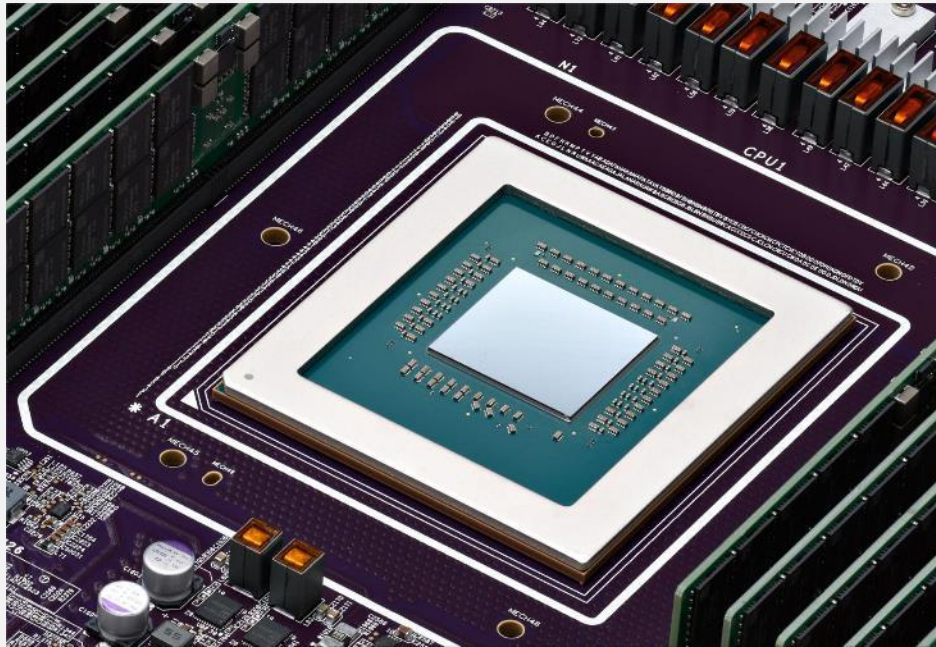


- ✓ Arm Neoverse V2コアを搭載
- ✓ 生成AIタスクの実行コストとエネルギー消費量を最大95%削減
- ✓ 数兆パラメータ規模のAIモデルが実現
- ✓ 主要クラウドプロバイダーや大手AI企業が採用

(出所) ArmおよびNVIDIA
パラメータ:大規模言語モデル(LLM)を構成する要素。LLMの性能と能力を左右し、数値が高いほど高度なデータ処理が可能。

Google: 同社初のデータセンター向け アームベースCPUを発表

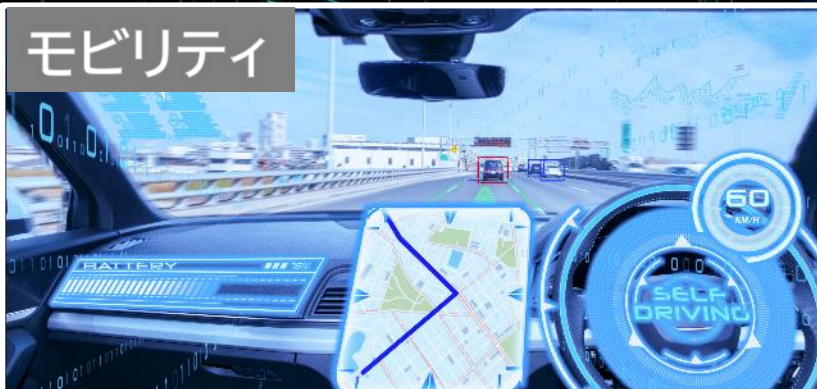
Axionプロセッサ (2024年4月発表)



- ✓ Arm Neoverse V2コアを搭載
- ✓ 同種の現行世代のx86ベースよりも最大50%性能が向上。最大60%高いエネルギー効率を提供
- ✓ Google社内で導入済み。外部顧客への提供は2024年後半を予定

AGIは全産業を変革

モビリティ



自動運転で事故のない世界

ヘルスケア



遺伝子解析で個別最適な医療

サービス



より人間らしいカスタマーサービス

ファイナンス



最適な投資の実行

物流



あらゆるデータを活用した需給マッチング
秒単位でのジャストインタイム

生産現場



自動化で効率化された世界

AIを活用する 様々な領域へ投資を実行

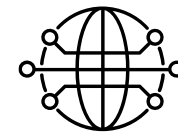
SBG戦略投資



SVF投資



コンシューマー



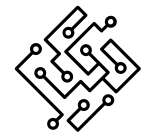
フロンティア
テック



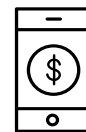
トランス
ポートーション



ロジス
ティクス



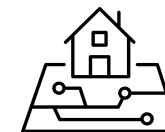
エンター
プライズ



フィンテック



ヘルステック



プロップテック



エドテック

AIを活用する 様々な企業へ投資を実行

SBG戦略投資



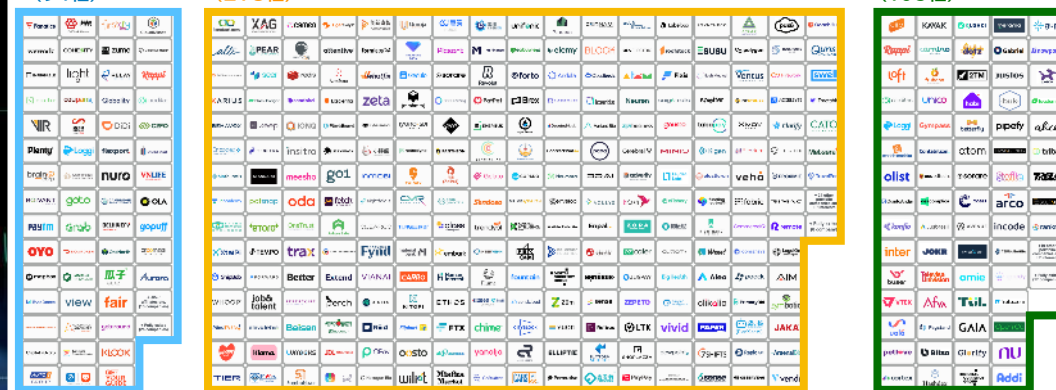
SVF投資

SoftBank Vision Fund 477社

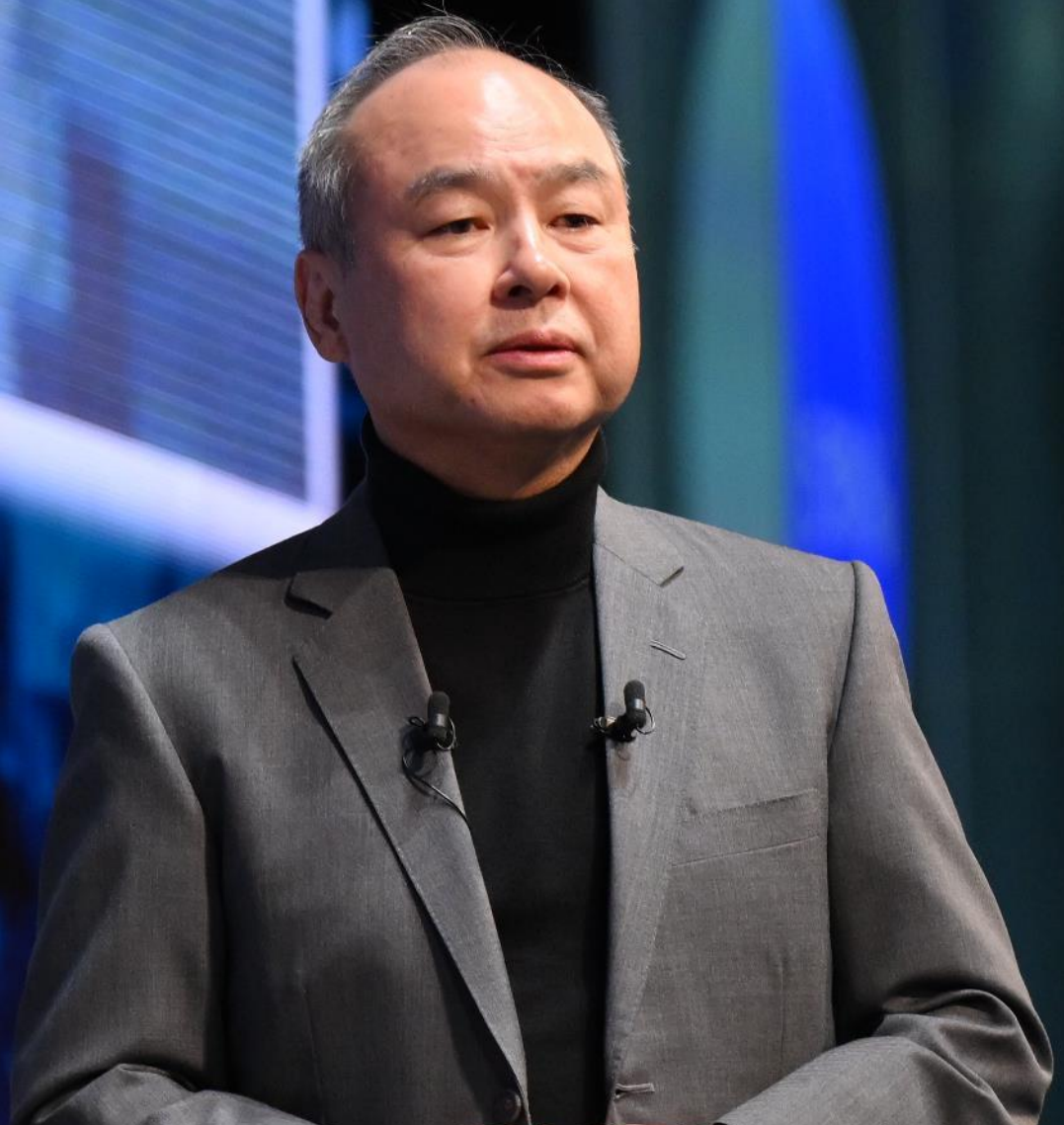
SVF1
(94社)

SVF2
(278社)

LatAmファンド
(105社)



SBG戦略投資はSBGまたはその100%子会社からの投資を含む。
SVF投資先数: SVF1、SVF2およびLatAmファンドの活動開始来累計投資銘柄数。既存の投資先との合併会社を含む。

A photograph of Masayoshi Son, the CEO of SoftBank, speaking at a podium. He is wearing a grey suit jacket over a black turtleneck. The background is dark with blue light patterns.

好む好まないにかかわらず
AGI革命はやってくる

今から10年後20年後、AGI
に取り組んだ企業・人物が、
人類のリード役に
なっていく

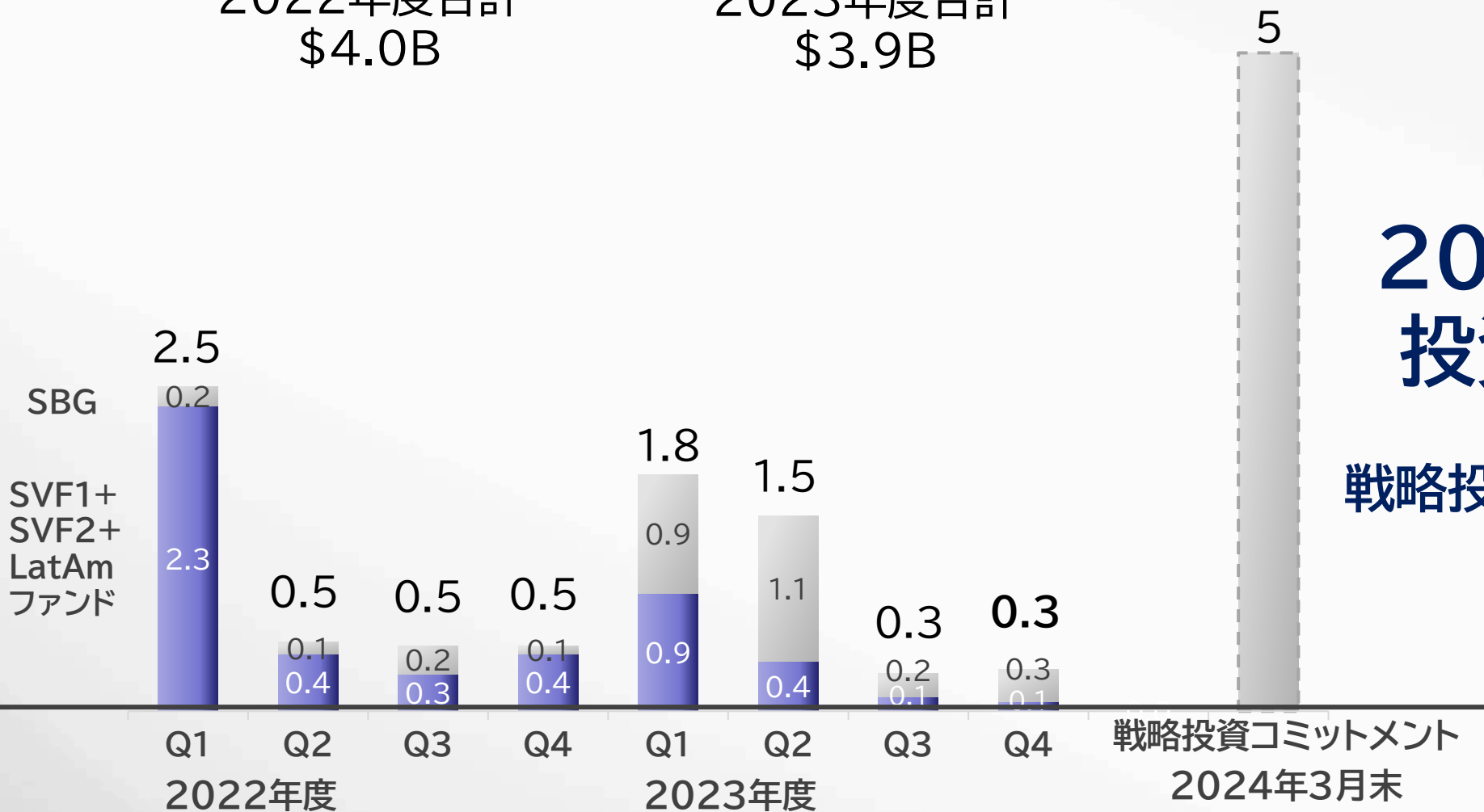
SoftBank World 2023 特別講演での孫正義の発言

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG)

(\$ B)

2022年度合計
\$4.0B

2023年度合計
\$3.9B



**2023年度実績
投資額\$3.9B**
+
戦略投資コミットメント\$5B

SBG投資額: SBGおよび主な100%子会社からの投資額(米国債への投資を除く)+Berkshire Grey(2023年7月)およびBalyo(2023年10月)の子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。
SVF投資額: 新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

戦略投資（領域別）

(\$ B)



2023年度

2023年度の主な投資先

 **symbolic**

GB

BALYO

 **TELEXISTENCE**

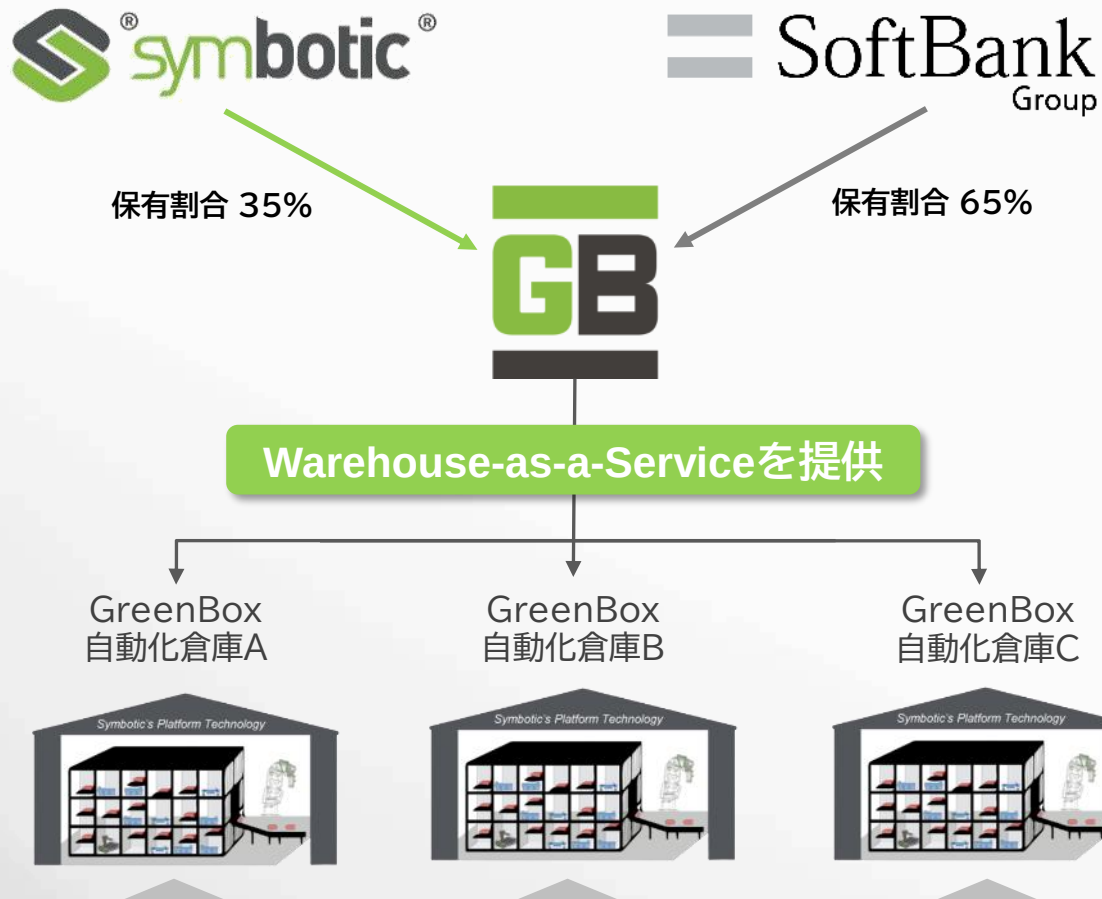
BG | **BERKSHIRE GREY**

 **mapbox**

 **STACK**

 **WAYVE**

Symboticと当社のJV



外部顧客がGreenBoxの自動化倉庫を使用

事業開始

- ✓ カリフォルニアで第一弾となる自動化倉庫の立ち上げ着手
運用開始時には稼働率100%スタートとなる契約を顧客と締結
(10年契約)
- ✓ その他の施設も積極的に開発中

GreenBoxは当社とSymboticの共同支配企業

AIで産業用オートメーションを変革

戦略投資



投資先、JVパートナー



100%子会社



SVF2投資先、長期パートナー

AIの活用

AIによるEnd to End(入荷から出荷まで)自動倉庫システム(ケース保管)。ロボット走行ルートや混合SKUパレット構築の最適化倉庫に加え店舗オペレーション(棚入れ、在庫管理等)も大幅に効率化

AIによるロボットアームによるピッキングおよび仕分けの自動化ソリューション。AIが継続的に学習し、商品のピッキング精度・スピードの改善を続ける

AIにより、通路不要で高い保管効率と入出荷オペレーションの効率化を実現するモジュール式の自動倉庫システム(ピース管理)。最大1/4にまで倉庫の必要スペースを減少させるほか、AIによりロボット作業効率の最適化や人的作業の大幅な削減を実現

Wayveへの投資



2024年5月、当社がリードした総額\$1B超の資金調達ラウンドを発表
新規投資家としてNVIDIA、既存投資家としてMicrosoftも参加



- ✓ End-to-end(エンド・ツー・エンド) ディープラーニング(深層学習)に基づく自動運転システムを開発し初めて公道でテスト走行を実施した企業
- ✓ どの車両も見て考え、どんな環境でも運転できる「GPT for driving」と言われる基盤モデルを開発中
- ✓ この資金調達で、最初のAIテクノロジーのローンチを目指す

動画をご覧ください



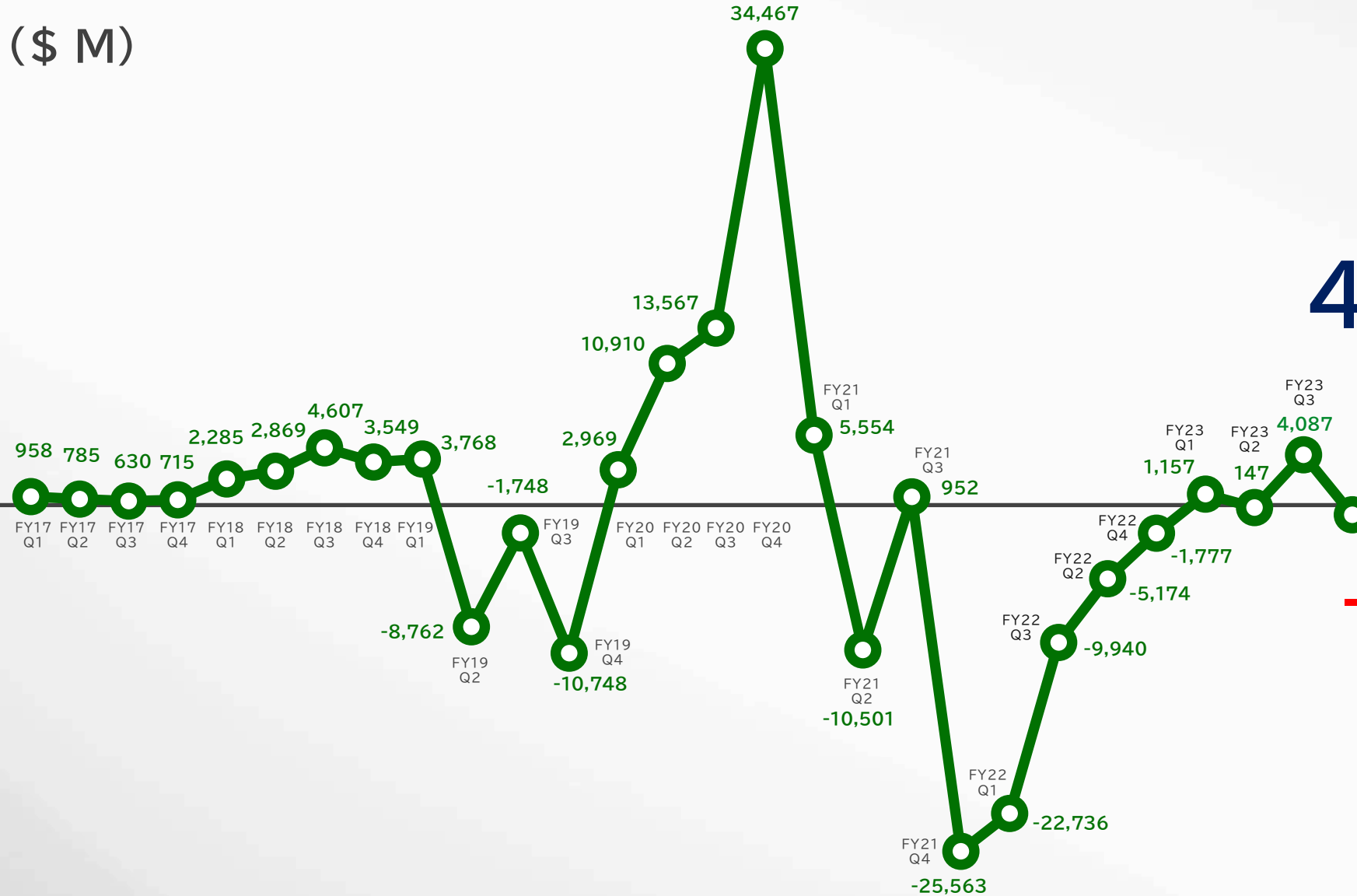
WAYVE

SVF

SVF: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



4四半期ぶりの
損失計上

FY23Q4
-389

投資損益(四半期):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の四半期計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF: 投資損益 (累計)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



累計投資損益
ほぼ横ばい

FY23Q4
-3,364

投資損益(累計):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の2017年度Q1からの累計計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF: 投資損益 (2023年度Q4)

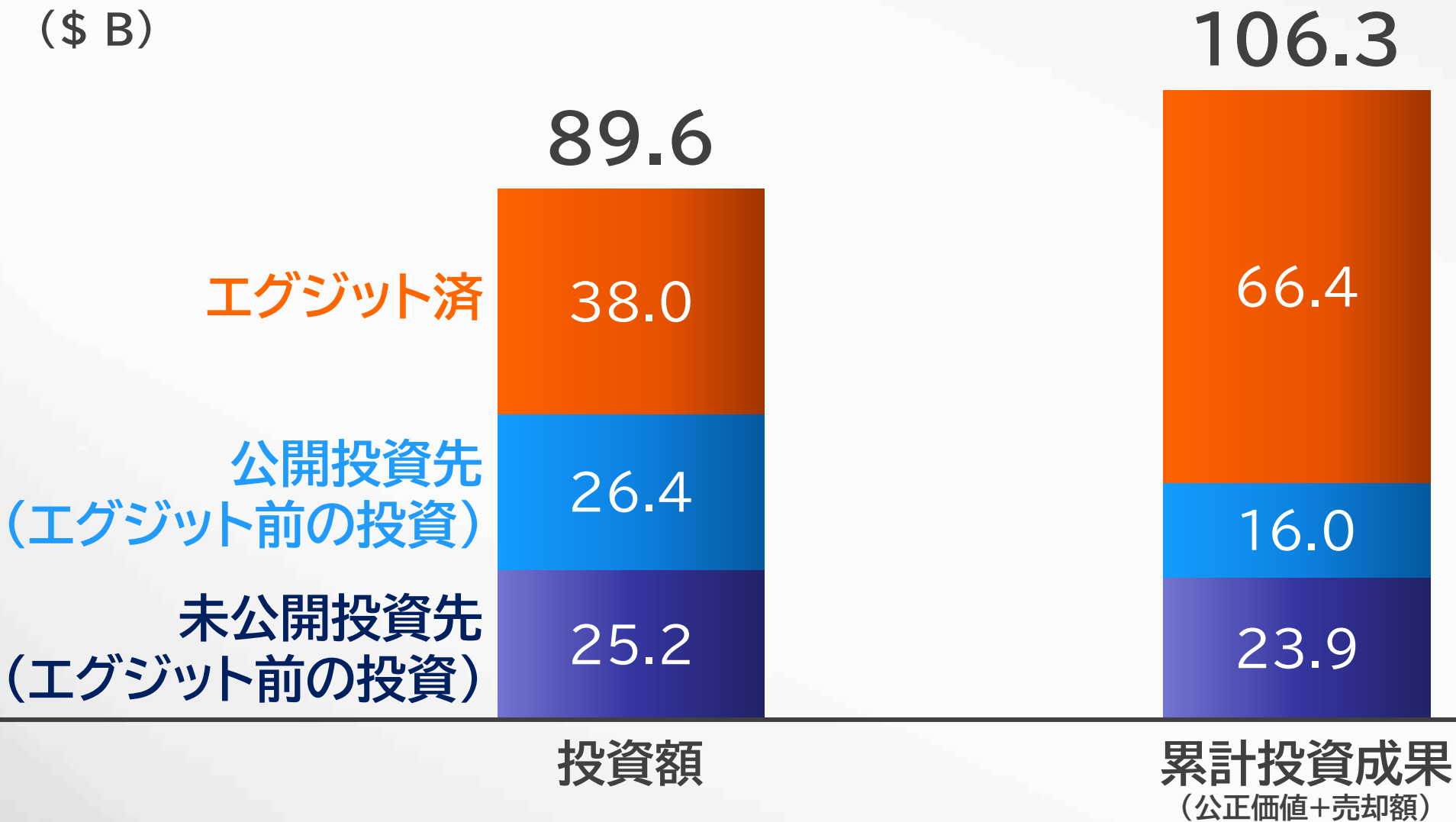
USDベース
(SVFセグメント)

合計	SVF1	SVF2	LatAmファンド
	+\$10M	-\$336M	-\$5M
	その他	-\$58M	

投資損益: SVF事業からの投資損益(セグメント情報)
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF 1: 累計投資成果 (2024年3月末時点)

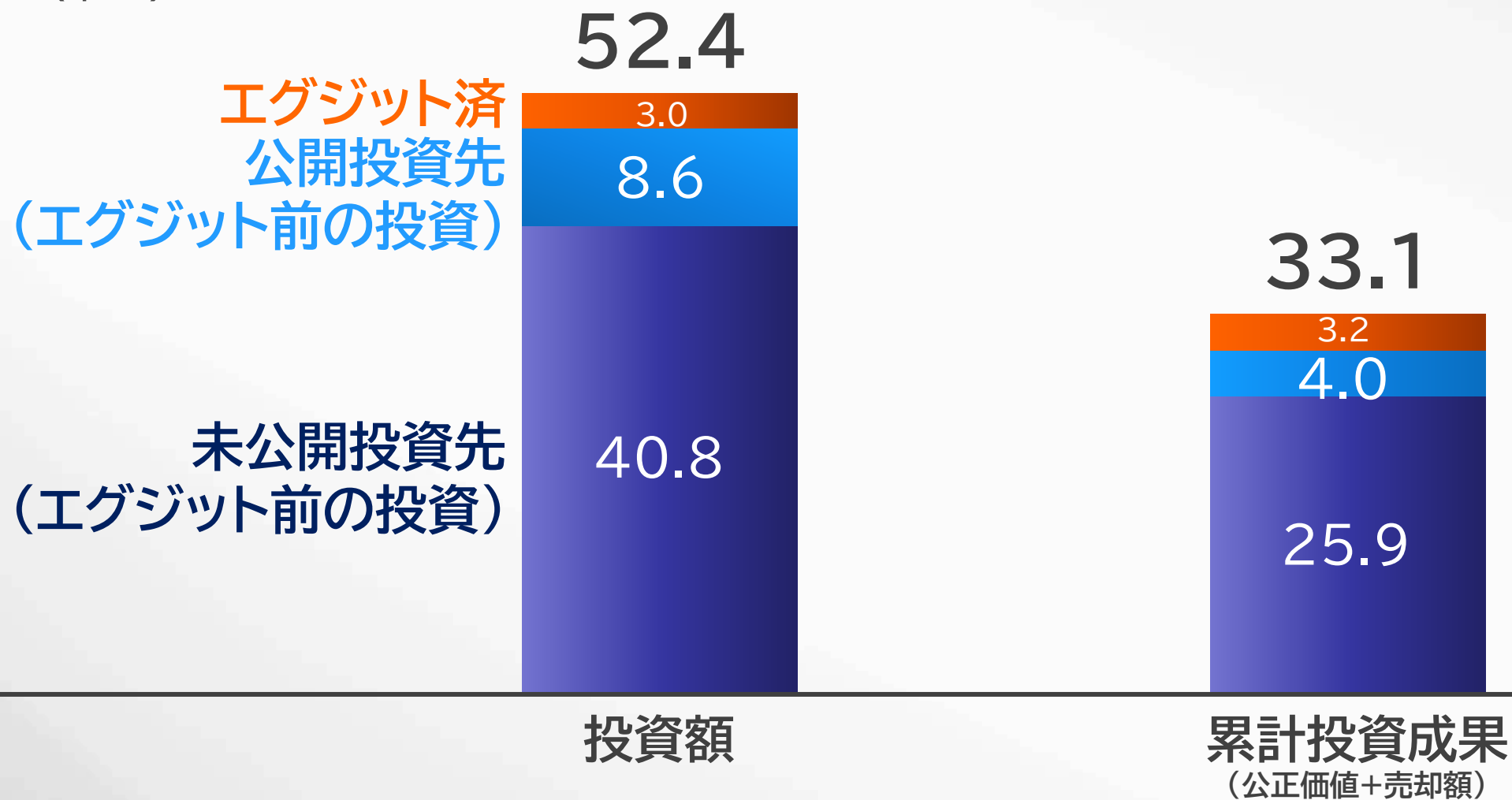
(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、2024年3月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は累計投資成果に含めていない。

SVF2: 累計投資成果 (2024年3月末時点)

(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、2024年3月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

M&Aが成長とエグジットを実現

戦略的エグジット

戦略的エグジット
14件

グロスMOIC
1.7倍

主なM&Aによる売却実績

 ➡ AVEVA

 ➡ General Motors

 ➡ Bayer

 ➡ Visa

投資先の主なM&A実績

COHESITY

CohesityはVeritasのデータ保護事業の買収を計画。AIを活用したデータ保護・管理ビジネスのリーディングカンパニーを目指す

 × 

 × 

 × 

2024年3月末時点。(出所) SBGAおよびSBIA

戦略的エグジット: 第三者による買収の結果、投資先を完全に売却した取引。SBGへの売却や、新会社または親会社の株式を対価として受け取る、現金支出を伴わないM&A取引を含まない。

グロスMOIC: 2024年3月31日時点における実現済みの株式に係る取得価額合計に対する、実現済みの投資の売却対価合計の倍率。エグジット時に投資家に課される税金およびファンド関連費用控除前。予想される実際のパフォーマンスや将来のパフォーマンスを示すものと解釈されるべきではない。個別の投資のパフォーマンス(純額)については、算出に当たり手数料および経費の配分について恣意的な仮定を置く必要があることから、本スライド記載の情報には含まない。

主なM&Aによる売却実績: SVF1全体で対価(グロス)が最大の売却2件、SVF2全体で(グロス)が最大の売却、LatAmファンド全体で対価(グロス)が最大の売却を含む。

CohesityとVeritasの取引: (出所) Cohesityの2024年2月8日付プレスリリース

投資先の主なM&A実績: 現金支出を伴わない最大のM&A取引3件を含む。

OSIsoft, GM Cruise, Vividion, Zomatoは全持分売却済み。

本スライドに記載の情報は、説明のみを目的としてSVF1, SVF2およびLatAmファンドについてのみ提供されており、ファンド管理者の現時点における考えを反映したものである。

本スライドに記載の投資は、SVF1, SVF2およびLatAmファンドが実施した戦略的エグジットを例示するために選択されたものであり、SVF1, SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。

本スライドに記載の言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。

本スライドに記載の指標は、事業の運営状況を示すためにSBIAの主観的な判断に基づき選択されている。同指標は、事業の内容を例示する目的でのみ提供されたものであり、必ずしも当社の業績や事業全体を完全に説明するものではない。過去の傾向が、SVF1, SVF2およびLatAmファンドの存続期間を通じて将来も継続することを保証するものではない。

株式公開実績と今後のパイプライン

強固なレイトステージ投資先のパイプライン

株式公開実績
(活動開始来累計)

50件

レイトステージ投資先の
公正価値

\$32B

主なレイトステージ投資先

SVF1

 ByteDance

 Fanatics

 firstcry.com

SVF2・LatAmファンド

 PayPay

 yanolja

 OLA ELECTRIC

LatAmファンド

 KAVAK

LatAmファンド

 QuintoAndar

LatAmファンド

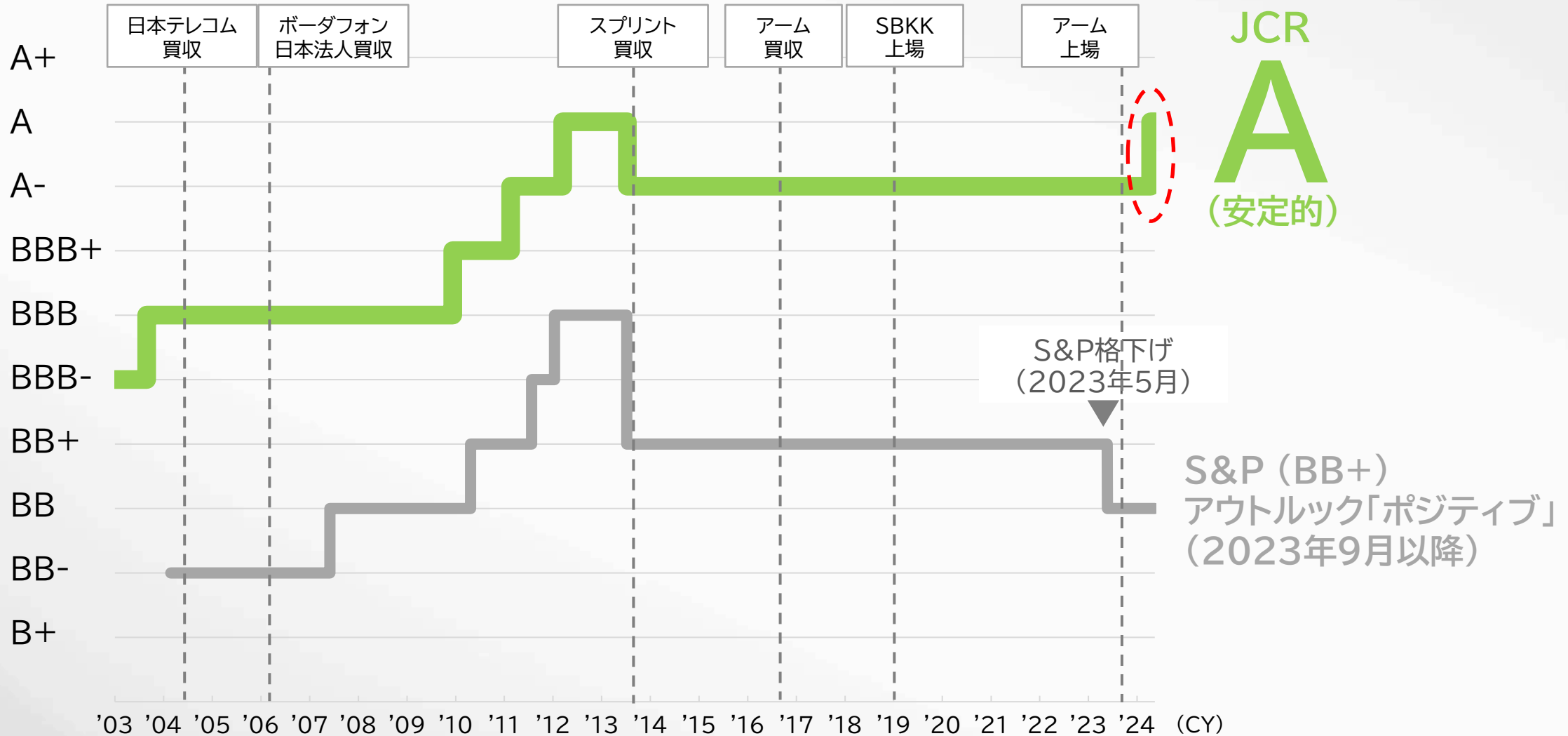
 wellhub

2024年3月末時点
(出所) SBGAおよびSBIA
株式公開実績(活動開始来累計): IPO件数およびSPACとの合併(De-SPAC)による株式公開件数。株式公開日に投資した投資先および投資後に全部エグジットまたは上場廃止した投資先を含む。WeWorkおよびFull Truck Allianceは、SVF1およびSVF2のいずれからも投資している。
レイトステージ投資先の公正価値: 2024年3月31日時点でシリーズE以降または同等のレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した、またはSBGAおよびSBIAの分析に基づき近い将来に上場する可能性があると考えられる未公開投資先の未実現の公正価値を含む。
本スライドに記載の投資は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが実施した投資のうち、シリーズEまたはそれに相当するレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した投資先を例示するために選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。
本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。
SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio/>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio/>に掲載。
レイトステージ投資先が将来的にまでも株式公開する、あるいはいつでも株式公開が可能であると想定されるべきではない。過去の業績が将来も継続することを保証するものではない。

財務戦略

SBGの格付推移

12年ぶりの格上げ



財務方針の堅持

1

通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

2024年度の財務戦略

財務理念

投資戦略と
シンクロした財務運営

財務原則

- ・財務方針の堅持
- ・あらゆる環境変化へ柔軟に対応
- ・各ステークホルダーとの信頼関係構築
(株主還元と財務改善の最適なバランスを追求)

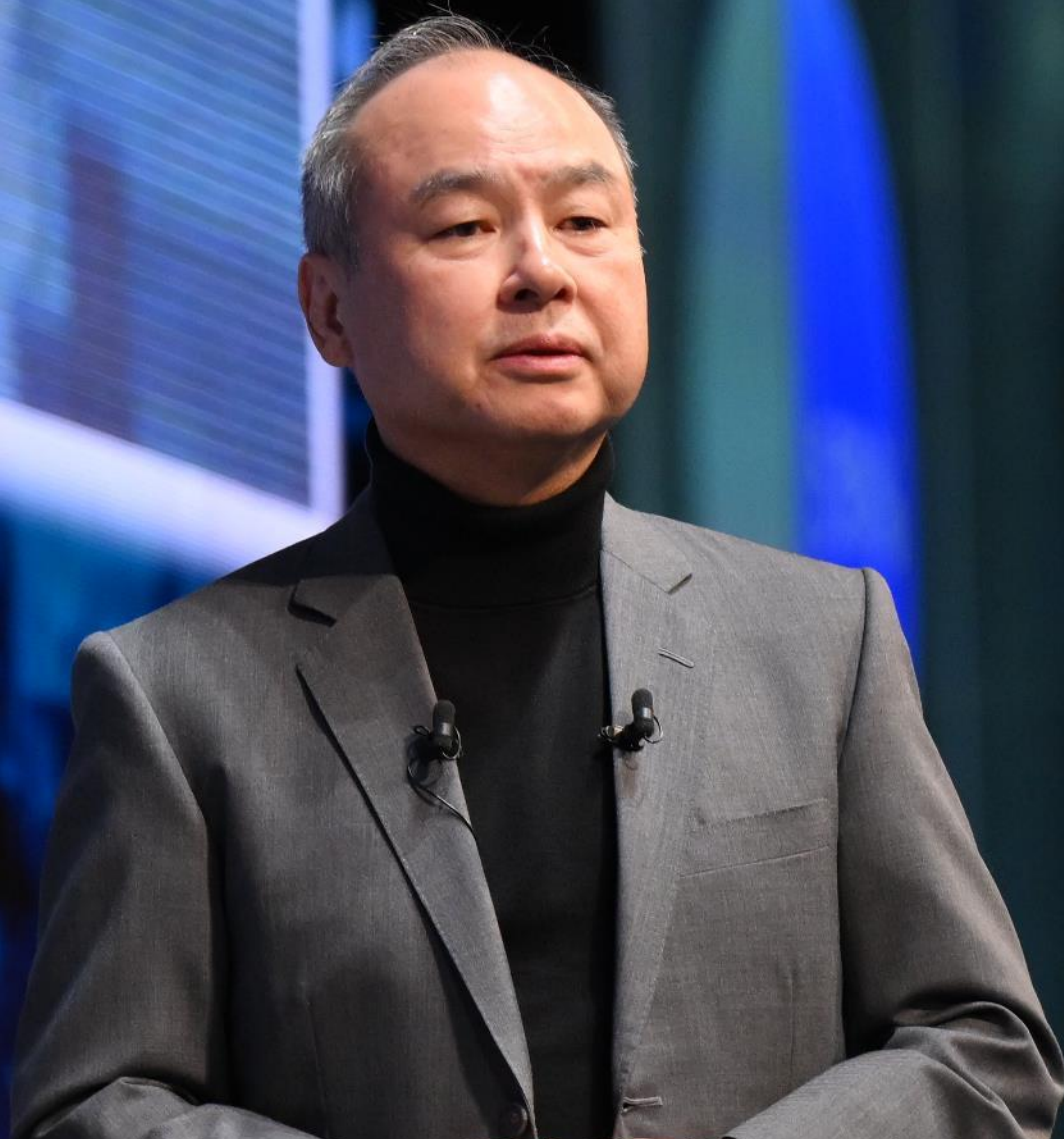
2024年度 財務戦略

将来NAV拡大のための成長投資を最優先

1. 潤沢な手元流動性の有効活用
2. 戦略投資を支えるノンリコース調達の積極活用
3. ポートフォリオのモニタリング強化→回収と再投資

2023年度まとめ

- 1 2024年3月末のNAVは過去最高水準まで増加
- 2 アームのIPO完了と同社株価の上昇
- 3 財務の安全性の維持
- 4 新規投資の再開(年間投資額:\$3.9B (5,609億円))
- 5 SVFパフォーマンスの改善

A photograph of Masayoshi Son, the CEO of SoftBank, speaking at a podium. He is wearing a grey suit jacket over a black turtleneck. The background is dark with blue light patterns.

好む好まないにかかわらず
AGI革命はやってくる

今から10年後20年後、AGI
に取り組んだ企業・人物が、
人類のリード役に
なっていく

SoftBank World 2023 特別講演での孫正義の発言

A serene sunset scene over a vast ocean. The sun is a bright, glowing orb on the horizon, casting a long, shimmering reflection across the water. The sky transitions from a deep blue at the top to a warm orange and yellow near the horizon. Gentle waves are visible in the foreground, their crests catching the light. The overall mood is peaceful and hopeful.

情報革命で人々を幸せに



Appendix

NAV・LTVの定義及び算出方法（2024年3月末時点）

1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) - (b) - (c)
 - (a) SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む） × 同社株価
 - (b) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (c) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- その他: (d) + (e) + (f)
 - (d) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (e) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
 - (f) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク（LINEヤフー株式会社及び及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(g)～(m)の調整額の合計
 - (g) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除（対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債）
 - (h) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入（対象社債: ミドル建ノンコール10年永久劣後社債）
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (j) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (k) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (l) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (m) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV（純負債／保有株式）

- $LTV = \text{純負債} \div \text{保有株式}$

5. その他

- 株価: 2024年3月29日終値
- 為替: 1ドル = 151.41円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（2023年3月末時点）

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- SBKK: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) + (c) - (d) - (e)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが有する株式購入オプションの対象株式数(2023年3月末時点: 34,971,809株を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) 2020年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (d) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (e) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値 × SBG保有割合(発行済株式総数の約75%) - SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額
- その他: (f) + (g) + (h)
 - (f) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (g) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (h) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(LINEヤフー株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(i)~(q)の調整額の合計
 - (i) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (j) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (k) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (l) 2021年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (n) SBKK株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 133.53円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（2023年12月末時点）

1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) - (b) - (c)
 - (a) SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む） × 同社株価
 - (b) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (c) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- その他: (d) + (e) + (f)
 - (d) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (e) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
 - (f) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク（LINEヤフー株式会社及び及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(g)～(m)の調整額の合計
 - (g) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除（対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債）
 - (h) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入（対象社債: ミドル建ノンコール10年永久劣後社債）
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (j) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (k) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (l) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (m) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV（純負債／保有株式）

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年12月29日終値
- 為替: 1ドル = 141.83円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

重要指標 (2023年12月末比)

2023年12月末

2024年3月末

NAV
(時価純資産)

19.2兆円

27.8兆円

LTV
(純負債／保有株式価値)

11.5%

8.4%

手元流動性

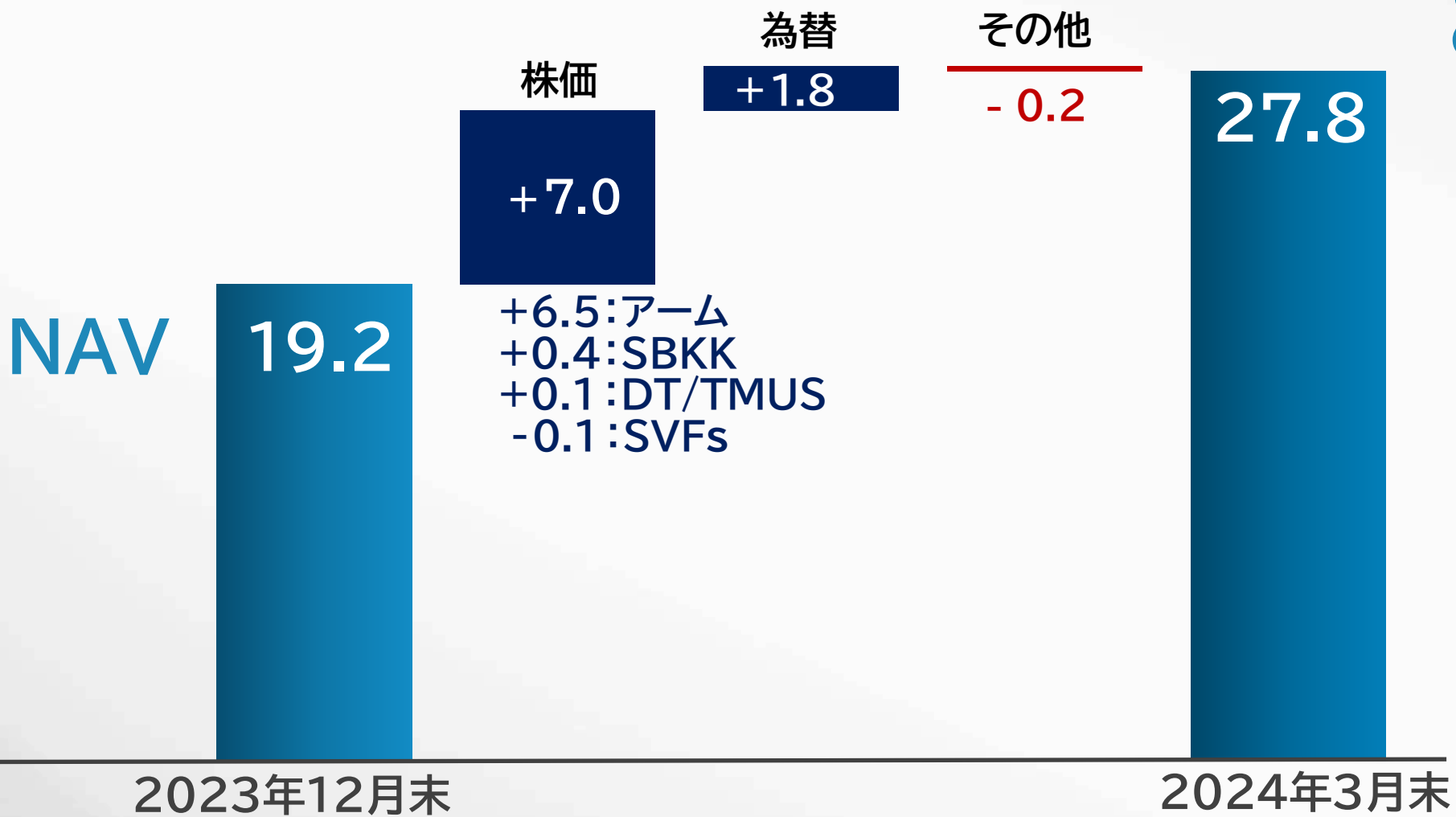
4.4兆円

4.7兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」を参照
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

NAV増減要因 (2023年Q4)

(兆円)



主に株価/為替要因で
8.6兆円増
(+45%)

NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計
為替:2024年3月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SBNは米ドル建てとみなして試算

為替影響 (2023年度Q4)

円安はNAVと資本にプラスの影響

(2023年12月末) (2024年3月末)
1米ドル= 141.83円 → 151.41円

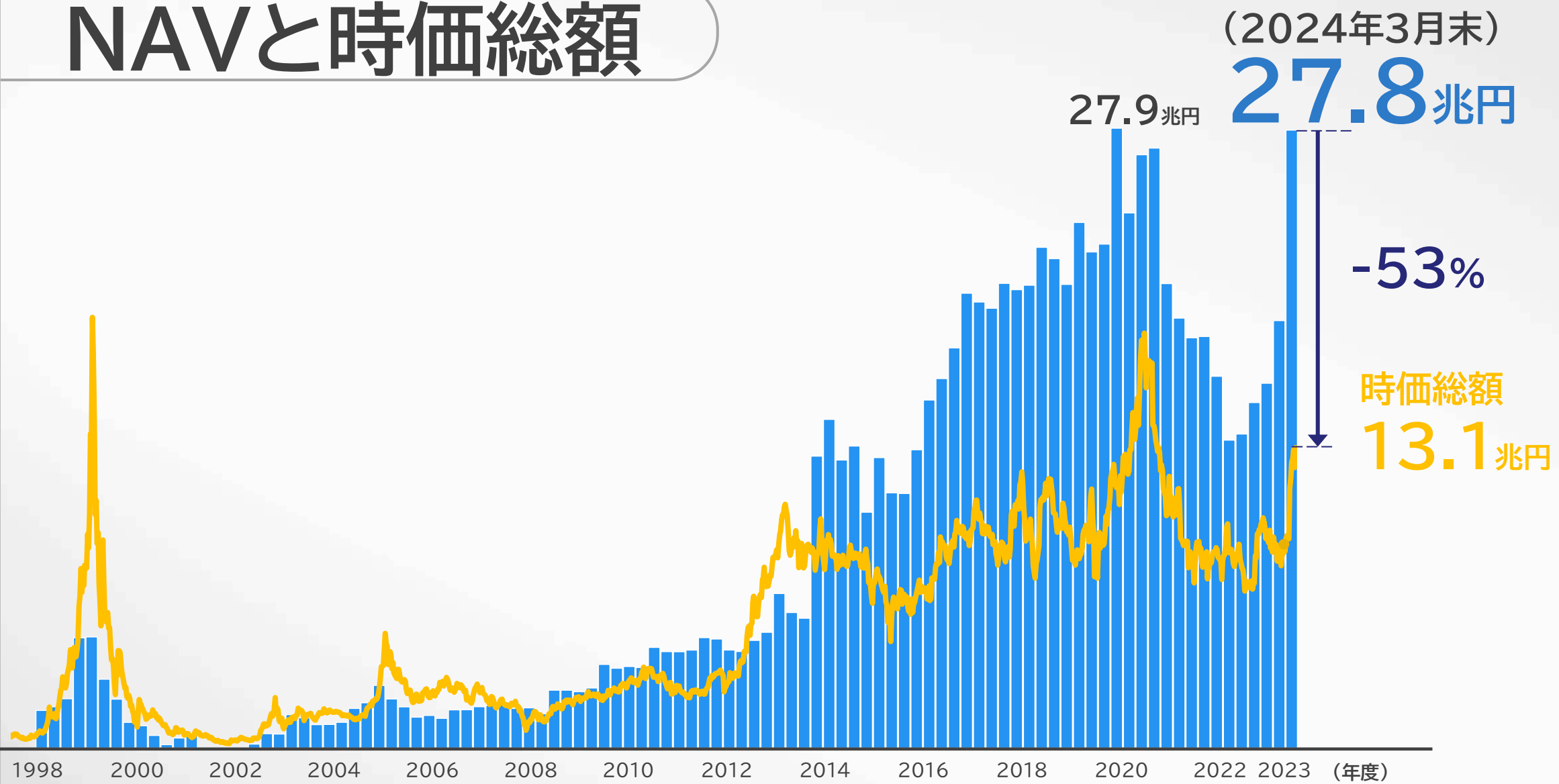
NAVへの影響

+1.8兆円

会計への影響

資本
+1.2兆円
連結純利益
-0.4兆円

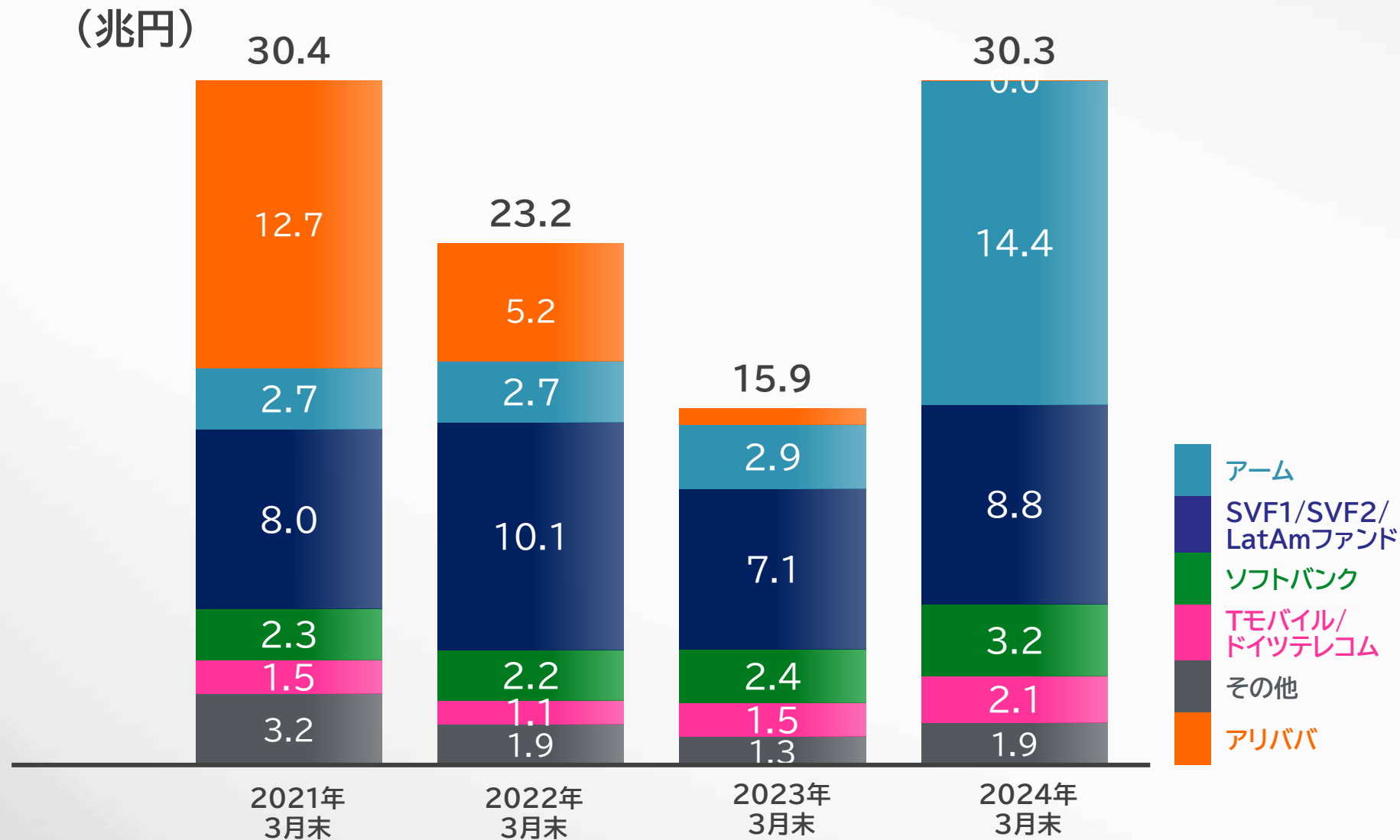
NAVと時価総額



各四半期末時点
NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年3月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない
時価総額：自己株式を除く発行済株式総数を基に算出

保有株式価値：構成変化

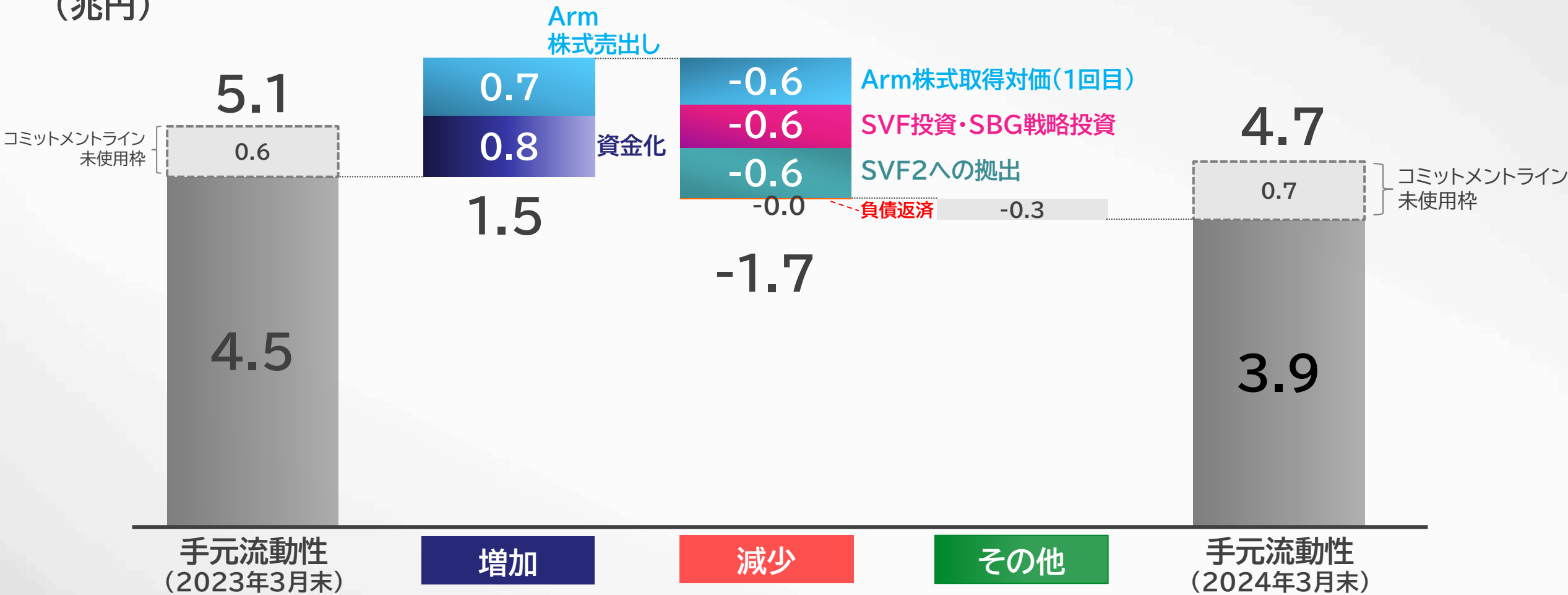
保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く



保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

資金化と資本配分（2023年度）

（兆円）

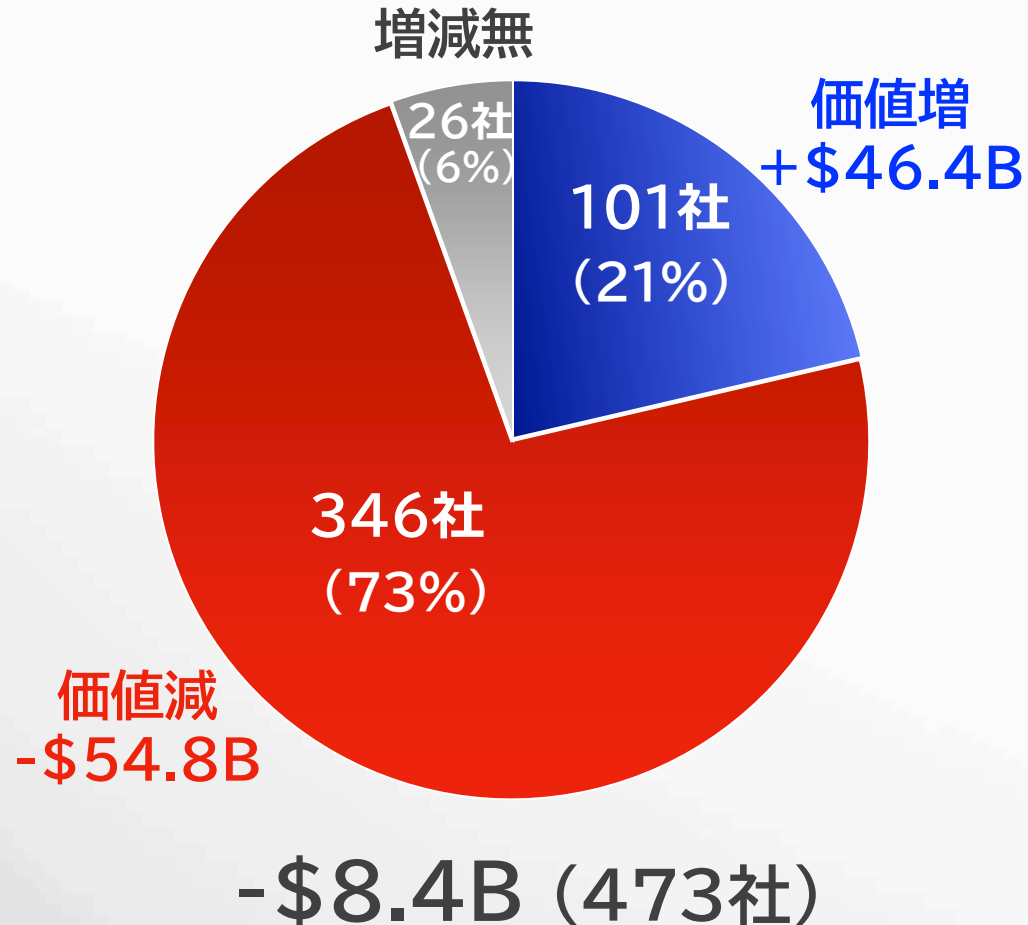


各四半期の平均レート等により円換算
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）
SBG単体：連結グループから独立採算子会社を除いたベース。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等
資金化：SVF1からの分配（＋\$0.2B）、SVF2からの分配（＋\$53M）、LatAmファンドからの分配（＋\$0.3B）、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約（＋\$4.4B）、子会社の支配喪失による収入（＋\$0.7B）
SVF投資・SBG戦略投資：SVF投資額合計（－\$1.5B）、SBG戦略投資合計（－\$2.4B）
負債返済：SBGの社債償還（永久ハイブリッド債（－¥277.8B）、国内普通社債（－¥419.4B）、国内ハイブリッド社債（－¥15.4B））、期中に買い入れた社債（－¥145.8B）。SBG社債発行（＋¥772.0B）、SBGハイブリッドローン調達（＋¥53.1B）等をネットして記載
SVF2への拠出：SVF2の借入金返済のための拠出など、投資を伴わない出資

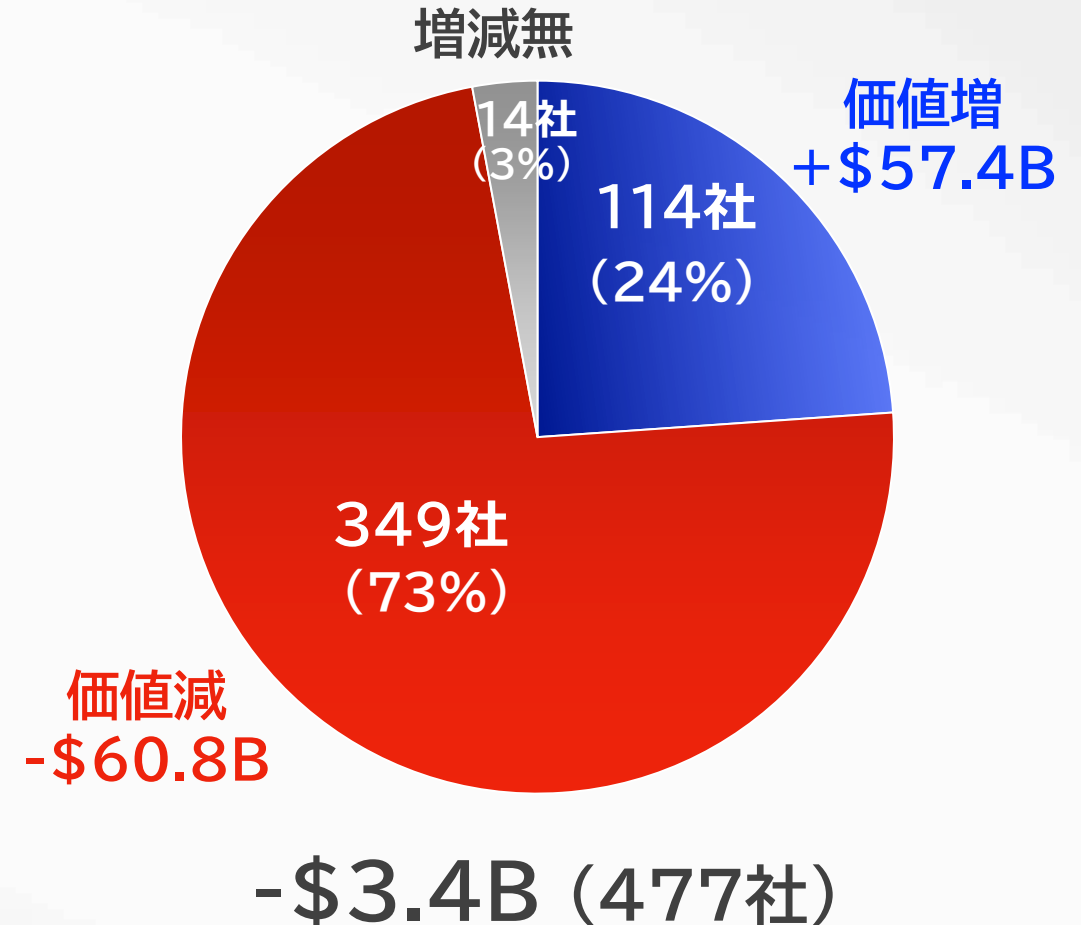
SVF: ポートフォリオの価値変動 (累計)

USDベース
(SVFセグメント)

2023年3月末



2024年3月末



ポートフォリオの価値変動 (累計): SVF事業からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
Polygon(MATICトークンの購入による投資)を含む(価値の増減無としてカウント)。

SVF: 投資損益

USDベース
(SVFセグメント)

2023年度Q3 (計+\$4,087M)

価値増

+\$7,403M (153社)

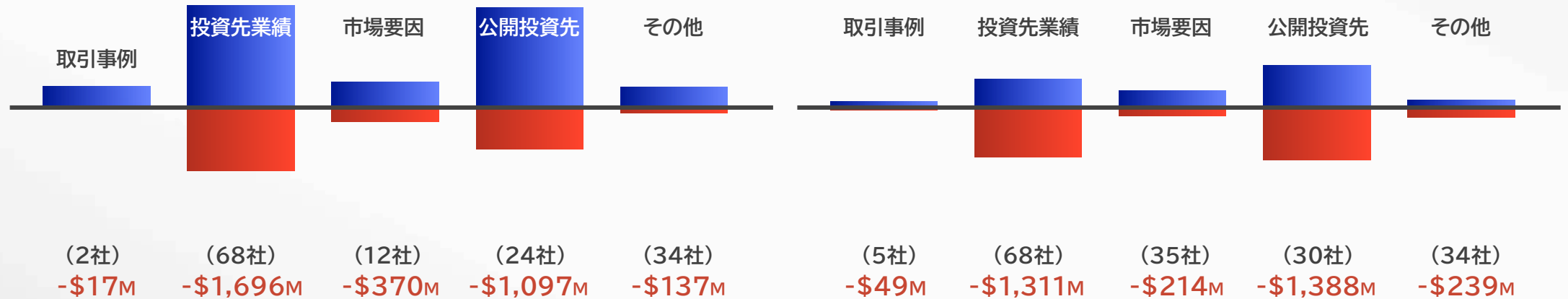
+\$598M (12社) +\$2,790M (25社) +\$706M (68社) +\$2,731M (25社) +\$577M (23社)

2023年度Q4 (計-\$389M)

+\$2,811M (120社)

+\$179M (6社) +\$788M (51社) +\$468M (26社) +\$1,160M (13社) +\$215M (24社)

主要因



価値減

-\$3,317M (140社)

-\$3,201M (172社)

投資損益: SVF事業からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q3および2023年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他: 未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF1: 投資損益

USDベース
(SVF1)

2023年度Q3 (計+\$1,940M)

価値増

+\$3,880M (21社)

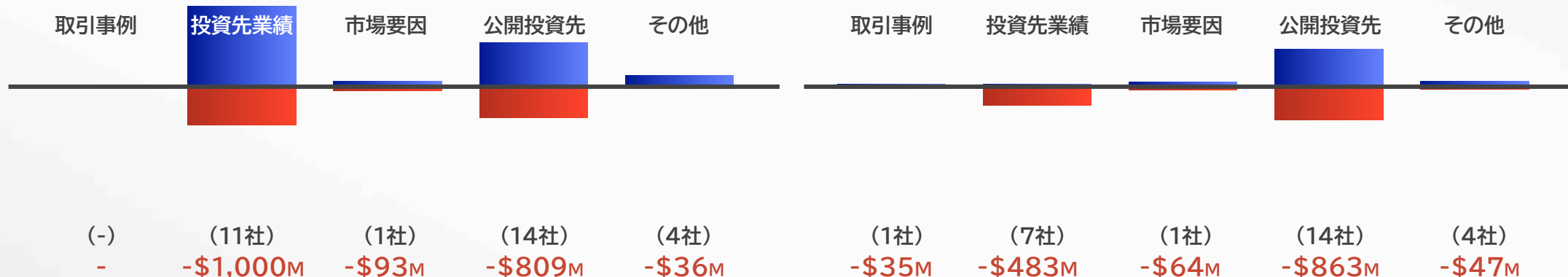
+\$10M (2社) +\$2,177M (2社) +\$170M (4社) +\$1,197M (10社) +\$327M (3社)

2023年度Q4 (計+\$10M)

+\$1,501M (19社)

+\$93M (1社) +\$87M (4社) +\$146M (4社) +\$1,017M (7社) +\$158M (3社)

主要因



価値減

-\$1,939M (30社)

-\$1,491M (27社)

投資損益: SVF1からの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q3および2023年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他: 未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF2: 投資損益

USDベース
(SVF2)

2023年度Q3 (計+\$1,703M)

価値増

+\$2,919M (96社)

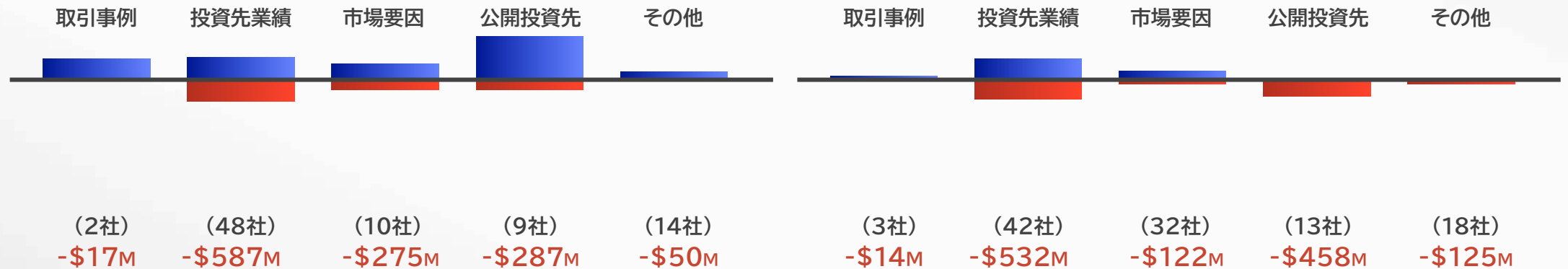
+\$560M (8社) +\$587M (19社) +\$418M (50社) +\$1,158M (8社) +\$196M (11社)

2023年度Q4 (計-\$336M)

+\$915M (67社)

+\$86M (5社) +\$564M (32社) +\$225M (18社) +\$5M (2社) +\$35M (10社)

主要因



価値減

-\$1,216M (83社)

-\$1,251M (108社)

投資損益:SVF2からの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q3および2023年度Q4における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因:類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先:店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他:未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF1: 公開株投資先 (2024年3月末時点)

(\$ M)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
	投資額 ^{*1}	時価(グロス) ^{*2}	損益(グロス)	倍率 ^{*3}	投資額 ^{*1}	時価(グロス) ^{*2}	損益(グロス)	倍率 ^{*3}
	Coupang	2,729	10,958	8,229	4.0x			
	Doordash	680	7,937	7,257	11.7x			
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x			
全持分売却済	Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x			
全持分売却済	Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x			
全持分売却済	Slack	334	1,018	684	3.0x			
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x			
全持分売却済	PolicyBazaar	199	592	394	3.0x			
全持分売却済	Opendoor	450	824	374	1.8x			
	Delhivery	397	722	325	1.8x			
全持分売却済	10x Genomics	31	338	307	10.9x			
	Vir Biotechnology	199	339	140	1.7x			
	Roivant ^{*4}	919	1,013	95	1.1x			
全持分売却済	Zomato	309	374	65	1.2x			
	Energy Vault	60	33	-27	0.6x			
	Relay Therapeutics	300	232	-68	0.8x			
	OneConnect	100	4	-96	0.0x			
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-150	0.7x			
	Aurora Innovation	333	111	-222	0.3x			
	Full Truck Alliance	1,700	1,459	-241	0.9x			
	GoTo (Gojek Tokopedia) ^{*5}	841	486	-355	0.6x			
	Getaround	348	7	-341	0.0x			
	Ginkgo Bioworks	404	28	-376	0.1x			

	Auto1	741	280	-462	0.4x
	Paytm	1,600	1,059	-541	0.7x
	SenseTime	1,429	841	-588	0.6x
	Compass	1,082	464	-618	0.4x
	Grab	2,993	2,232	-761	0.7x
	View	1,175	1	-1,174	0.0x
	WeWork ^{*6}	3,468	0	-3,468	0.0x
	DiDi	12,073	3,709	-8,364	0.3x
(A)	公開株式 合計 (グロス) ^{*7}	\$46,697 (7.1兆円)	\$53,984 (8.2兆円)	\$7,287 (1.1兆円)	1.2x
(B)	未公開株式等 ^{*8}	\$40,878	\$50,344	\$9,466	
(A)+(B)	SVF1 合計(SBG目線)	\$87,575	\$104,328	\$16,753	

1ドル=151.41円(2024年3月31日TTM)で換算

1ドル=151.41円(2024年3月31日TTM)で換算

投資時点で公開済みの投資先および投資後に非公開化した投資先を含む。

1.投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2.時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2024年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前

3.倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため未掲載

4.Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前(2020年3月)に実現した\$116Mを除外

5.GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7Mを除外

6.WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468M)には、WeWork Asia Holding Company B.V.(“WeWork Asia”)への投資額(\$400M)が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で2020年4月にWeWork優先株式に交換

7.公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiおよびWeWorkへの投資を含む。なお、WeWork株式の帳簿価額は0ドルまで引き下げている。これは、2023年11月6日に同社と主要な債券投資家との間で締結されたリストラクチャリングサポート契約(RSA)に基づき判断したものである。

8.アームを含む。アームの新規株式公開に先立つ2023年8月、当社100%子会社はSVF1が保有していたアームの普通株式の実質的に全てを取得した。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

累計投資パフォーマンスを純額で表示

2024年3月末時点におけるSVF1に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net Paid-in capital) = \$27.7B、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$30.9B。詳細は「2024年3月期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF2: 公開株投資先 (2024年3月末時点)

(\$ M)		(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}
	全持分売却済				
	Beike	1,350	2,497	1,147	1.8x
	Symbotic	200	900	700	4.5x
	Neumora Therapeutics	60	105	45	1.8x
	IonQ	61	69	9	1.1x
	Globalstar	5	7	2	1.4x
	全持分売却済				
	Qualtrics	24	15	-9	0.6x
	全持分売却済				
	Berkshire Grey	115	92	-23	0.8x
	Pear Therapeutics	46	0	-46	0.0x
	Beisen	100	26	-74	0.3x
	Full Truck Alliance	250	171	-79	0.7x
	Alnnovation	126	39	-87	0.3x
	全持分売却済				
	Zhangmen	105	1	-104	0.0x
	Keep	200	26	-174	0.1x
	Exscientia	284	109	-176	0.4x
	Seer	205	10	-195	0.0x
	DingDong Mai Cai	325	17	-308	0.1x
	JD Logistics	601	138	-462	0.2x
	Better	497	31	-466	0.1x
	AutoStore	2,800	2,241	-559	0.8x
	WeWork	3,033	1	-3,032	0.0x
(A)	公開株式 合計 (グロス) ^{*4}	\$10,386 (1.6兆円)	\$6,493 (1.0兆円)	-\$3,893 (-0.6兆円)	0.6x
(B)	未公開株式等	\$41,984	\$26,567	-\$15,417	
(A)+(B)	SVF2 合計(SBG目線)	\$52,370	\$33,060	-\$19,310	

1ドル=151.41円(2024年3月31日TTM)で換算

投資時点で公開済みの投資先および投資後に非公開化した投資先を含む。投資後に非公開化した投資先には、SBGに全株式を売却した投資先を含む。

1.投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計

2.時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2024年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3.倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4.公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているPear TherapeuticsおよびWeWorkへの投資を含む。なお、WeWork株式の帳簿価額は0ドルまで引き下げている。これは、2023年11月6日に同社と主要な債券投資家との間で締結されたリストラクチャリングサポート契約(RSA)に基づき判断したものである。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

2024年3月月末時点におけるSVF2に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net Paid-in capital) = \$55.7B。SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$35.3B。詳細は「2024年3月期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF1（2024年3月末） （ファンド全体）

普通出資IRR

3%

優先出資IRR

7%

ブレンドIRR

4%

<公正価値の評価プロセス>
SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザリーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。SBIAの投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCo-CEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。SBIAの投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>
SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>
普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2024年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。
優先出資IRR(LP Net Preferred Equity IRR)とは、諸経費が支払われた後の優先出資持分に係る内部収益率を指します。2024年3月末時点での優先出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額、SVF1の純資産価値及び引当済かつ未払いの優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)を元に算出されています。
ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を組み合わせた正味の内部収益率を指します。2024年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。
"Equity" IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッドパートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF1（2024年3月末） （SBG（LP）＋ 成功報酬）

普通出資IRR 3%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCo-CEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。SBIAの投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2024年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。

普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響について、調整が必要と判断される場合に本影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。

“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッドパートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF2（2024年3月末） （SBG（LP））

ブレンドIRR

-19%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAはSBGAの選任投資顧問として四半期ごとにIFRSに準拠してSVF2で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBGAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCo-CEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF2の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF2が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF2はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、リミテッド・パートナーが負担する管理報酬、業績連動型管理報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めたSVF2の異なる種類の証券の合計の正味の投資成績を表しています。2024年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF2の純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)))は、SBGのブレンドIRR率(計算はLP Net Blended IRRと同様)を表しています。2022年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。

SVF2はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF2の投資成績は直近でSVF2が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF1+2（2024年3月末） （SBG（LP）+ 成功報酬）

ブレンドIRR - 8 %

<公正価値の評価プロセス>
SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)及びIFRSに準拠してSVF1及びSVF2(以下併せて「ファンド」)で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SVF1では、これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによるSVF1及びSVF2の評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIA及びSBGAのそれぞれの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。SBIAの投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCo-CEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はファンドの独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。SVF1の評価結果はSBIA UK Boardに最終承認され、SVF2の評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>
ファンドが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、ファンドはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、SVF2の投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>
Vision Fund 1+2 (SBG (LP)+成功報酬))は、SBGによるファンドへの投資開始以来の合算の投資成績を表したものです。(以下に定義)
ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、業績連動型管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めたSVF1とSVF2の異なるクラスの証券の合計の正味の投資成績を表しています。2024年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1とSVF2の純資産価値を元に算出されています。
ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SVF1のマネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響について、調整が必要と判断される場合に本影響を調整した、SBGのSVF1とSVF2に係るブレンドIRR(計算はLP Net Blended IRRと同様)を表しています。SVF2については、2022年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。
ファンドはこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。
ファンドの投資成績は直近でファンドが一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1もしくはSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

LatAm Funds (2024年3月末)

(SBG (LP) + 成功報酬)

ブレンドIRR - 3%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAはSBGAの選任投資顧問として四半期ごとにIFRSに準拠してLatAm Fundsで実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBGAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCo-CEOとその他の上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はLatAm Fundsの独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

LatAm Fundsが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、LatAm FundsはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法をその手法の一つとし、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、LatAm Fundsの投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

LatAm Fundsとは、LatAm1及びLatAm 2を含むSBLA Latin America Fund LLCの合算の投資成績を表したものです。

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めた正味の内部収益率を指します。2024年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びLatAm Fundsの純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SBGの普通出資持分に係る内部収益率(計算はLP Net Equity IRRと同様)を表しています。該当がある場合は、マネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響が加味されます。

LatAm Fundsはこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

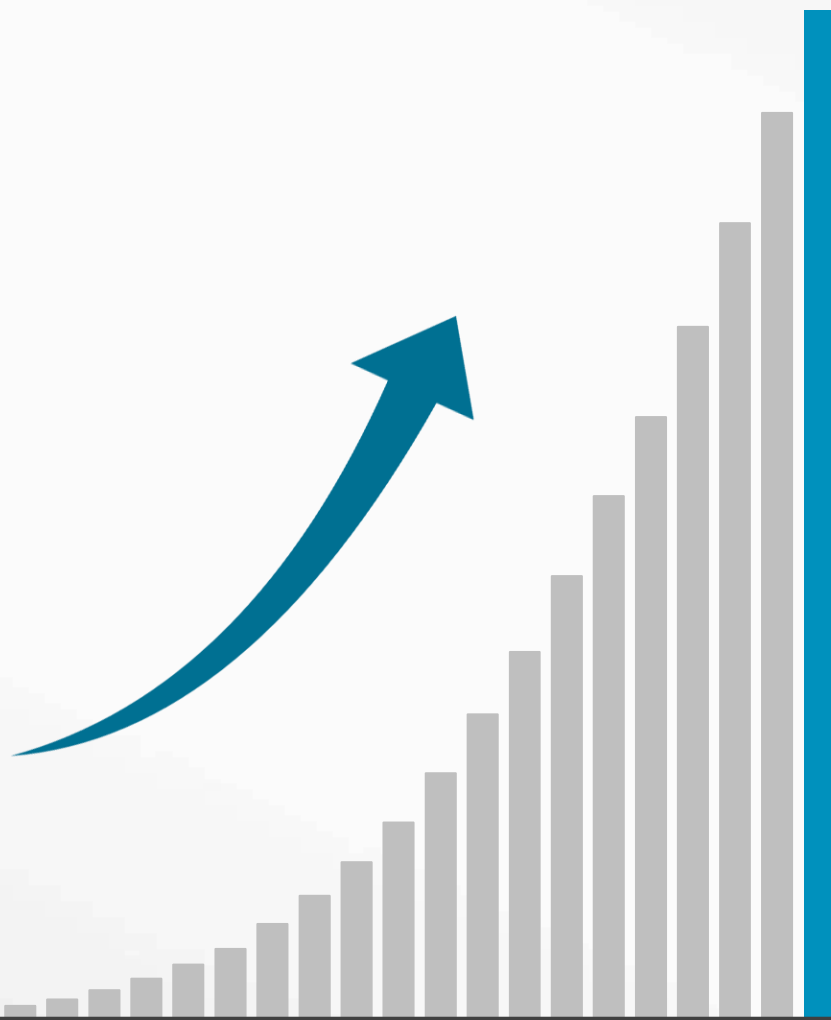
アームベースチップ累計出荷数

arm

(億個)

2023年12月までの累計出荷実績

2,870億個



1990年

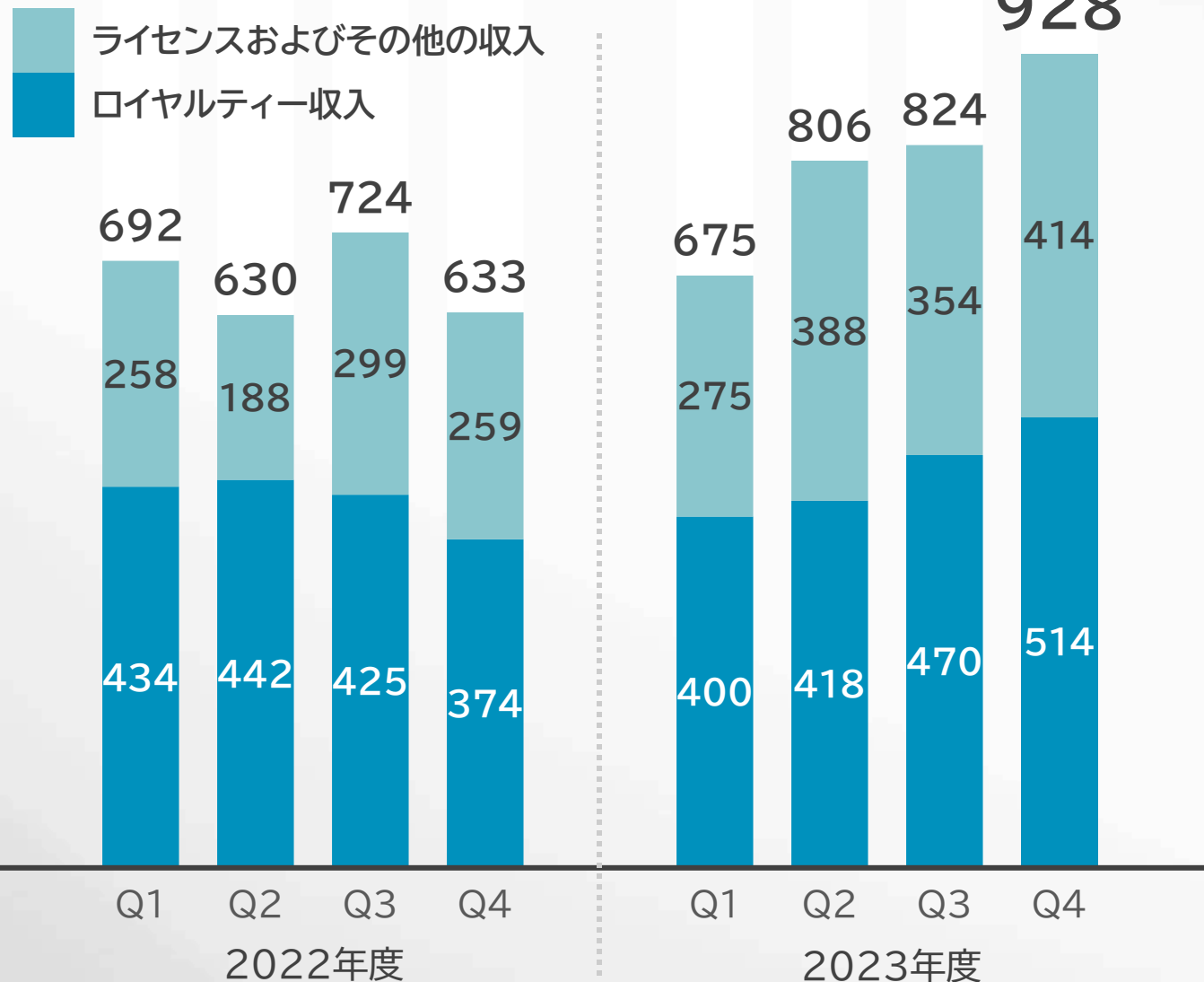
2023年 (各年12月末時点)

(出所) Arm
アームベースチップの出荷実績は、出荷の発生から1四半期遅れてライセンスから報告を受けるため、本スライドには2023年12月までの実績を掲載。

四半期売上高（米国会計基準）



(\$ M)



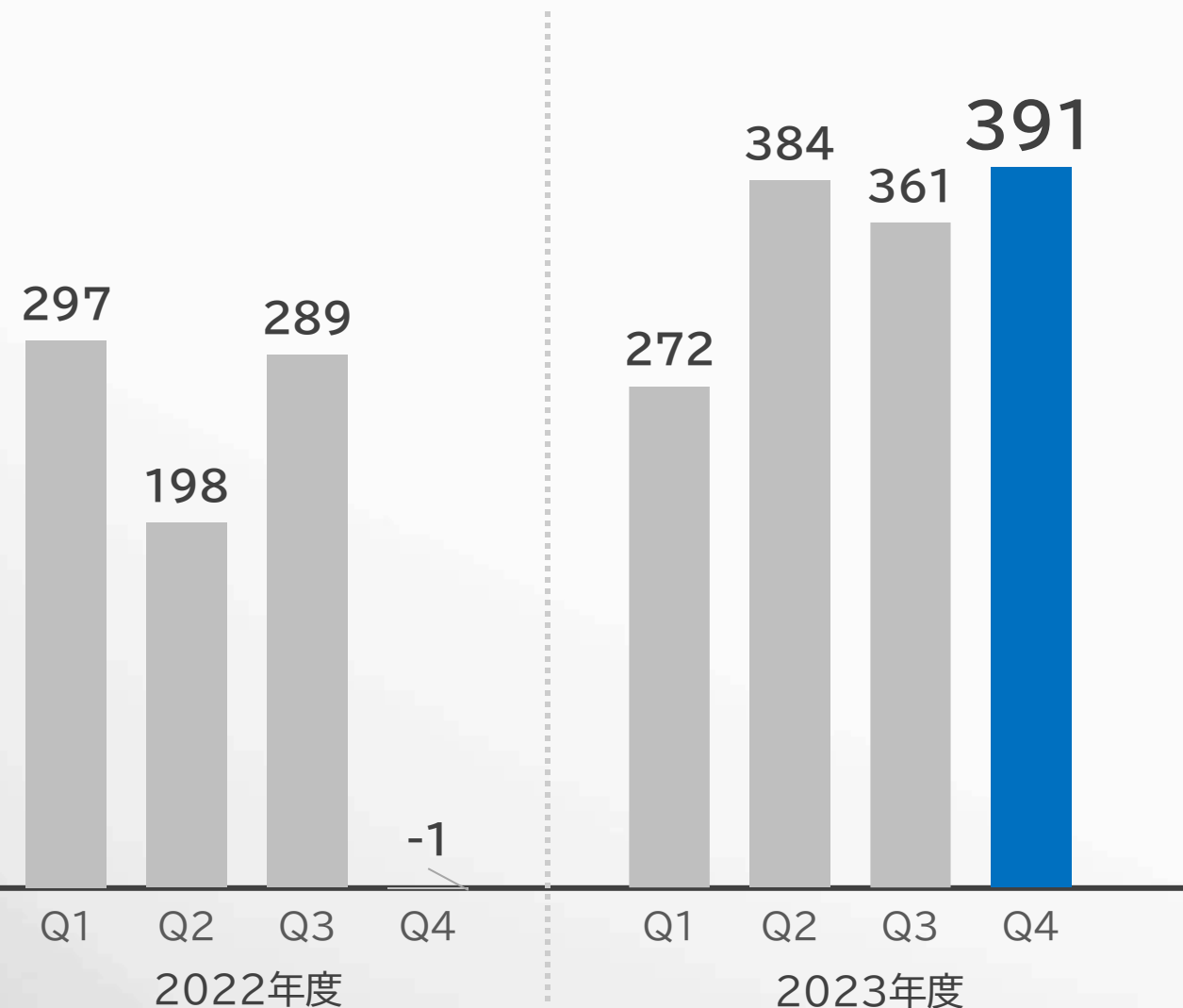
売上高、
引き続き過去最高

ロイヤルティー収入
過去最高

（出所）Arm
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照
「ライセンスおよびその他の収入」は「ロイヤルティー収入」以外の収入を指す。

四半期調整後営業利益（米国会計基準）

(\$ M)



前四半期比
8%増

（出所）Arm
調整後営業利益は「Non-GAAP Operating Income」を示す。GAAP基準数値とNon-GAAP数値
間の差異については、アームの「FYE24-Q4 Shareholder Letter」を参照
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照